

学校コード F113310103732
注3

設置年度 令和 2年度
計画の区分： 学部の設置
注1

届出

注2
成蹊大学 経済学部

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人 成蹊学園
令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 学長室総合企画課

職名・氏名

電話番号 0422-37-3531

(夜間) 0422-37-3531

e-mail kikaku@jim.seikei.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

経済学部

＜経済数理学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	32
4. 既設大学等の状況	37
5. 教員組織の状況	39
6. 附帯事項等に対する履行状況等	74
7. その他全般的事項	75

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 成蹊学園

(2) 大学名

成蹊大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒180-8633

東京都武蔵野市吉祥寺北町三丁目3番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ツクダ カズオ) 佃 和夫 (平成19年3月就任)	(コバヤシ ケン) 小林 健 (令和3年4月就任)	任期満了のため交代 令和3年4月1日(3)
学長	(キタガワ ヒロシ) 北川 浩 (平成28年4月就任)	(モリ ユウイチ) 森 雄一 (令和4年4月就任)	任期満了のため交代 令和4年4月1日(4)
学部長	(オダ ヒロノブ) 小田 宏信 (令和2年4月就任)		
学科長等	(ヨシダ ヨシヒロ) 吉田 由寛 (令和2年4月就任)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)

令和5年度に報告する内容 → (5)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和5年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
経済学部 経済数理学科 学士（経済学）	経済学関係	4 年	80 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	320 人	-	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。）

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率（控除後）	収容定員充足率	収容定員充足率（控除後）	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	80 (—) [—]	— (—) [—]	80 (—) [—]	— (—) [—]	80 (—) [—]	— (—) [—]	80 (—) [—]	— (—) [—]	1.04倍	一倍	1.03倍	一倍	
志願者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	783 (—) [—]	— (—) [—]	1135 (—) [—]	— (—) [—]	846 (—) [—]	— (—) [—]	1096 (—) [—]	— (—) [—]					
受験者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	742 (—) [—]	— (—) [—]	1096 (—) [—]	— (—) [—]	810 (—) [—]	— (—) [—]	1047 (—) [—]	— (—) [—]					
合格者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	229 (—) [—]	— (—) [—]	300 (—) [—]	— (—) [—]	301 (—) [—]	— (—) [—]	286 (—) [—]	— (—) [—]					
B 入学者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	87 (—) [—]	— (—) [—]	81 (—) [—]	— (—) [—]	75 (—) [—]	— (—) [—]	92 (—) [—]	— (—) [—]					
入学定員超過率 B/A	—	—	—	—	1.08	—	1.01	—	0.93	—	1.15	—					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率（控除後）」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和6年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	87 [—] (—)	— [—] (—)	82 [—] (1)	— [—] (—)	76 [—] (1)	— [—] (—)	92 [—] (—)	— [—] (—)	
2年次	/		— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	84 [—] (3)	— [—] (—)	84 [—] (3)	— [—] (—)	79 [—] (4)	— [—] (—)	
3年次			/		/		— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	81 [—] (—)	— [—] (—)	78 [—] (—)
4年次	/						/		/		— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)
計			— [—] (—)	— [—] (—)	87 [—] (—)	166 [—] (1)					241 [—] (4)	330 [—] (4)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	87人	0人	平成30年度	－人	－人	
			令和元年度	－人	－人	
			令和2年度	0人	0人	
令和3年度	166人	2人	平成30年度	－人	－人	
			令和元年度	－人	－人	
			令和2年度	2人	0人	進路変更(1名)、その他(1名)
			令和3年度	0人	0人	
令和4年度	241人	0人	平成30年度	－人	－人	
			令和元年度	－人	－人	
			令和2年度	0人	0人	
			令和3年度	0人	0人	
			令和4年度	0人	0人	
令和5年度	330人	3人	平成30年度	－人	－人	
			令和元年度	－人	－人	
			令和2年度	0人	0人	
			令和3年度	2人	0人	その他(2名)
			令和4年度	1人	0人	他の教育機関への入学・転学(1名)
			令和5年度	0人	0人	
合計		5人		5人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{87} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{166} = \boxed{1.2} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{241} = \boxed{0} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{330} = \boxed{0.9} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<経済学部 経済数理学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通科目・外国語・英語科目	College English (Listening & Speaking) I	1前	1								3
	College English (Reading & Writing) I	1前	1								3
	College English (Listening&Speaking)II	1後	1								3
	College English (Reading & Writing) II	1後	1								3
	College English (Integrated Skills) I	2前	1								2
	College English (Integrated Skills) II	2後	1								2
	TOEFL Preparation Introduction	1前		1							1
	TOEFL Preparation Intermediate	1後		1							1
	TOEIC Preparation Introduction	1前		1							1
	TOEIC Preparation Intermediate	1後		1							1
	IELTS Preparation Introduction	1前		1							1
	IELTS Preparation Intermediate	1後		1							1
	基礎からのコミュニケーション英文法	1前		2							1
	自分でデザインする英語学習	1前		2							1
	英語発音トレーニング	1前		2							1
	英語読解トレーニング	1前		2							1
	Presentation Skills Basic	1前		2							1
	Discussion Skills Basic	1前		2							1
	Writing Skills (Paragraph)	1前		2							1
	Presentation Skills Intermediate	1後		2							1
	Discussion Skills Intermediate	1後		2							1
	Writing Skills (Essay)	1後		2							1
	多読で学ぶ英語と文化	2前		2							1
	映画で学ぶ英語と文化	2前		2							1
	ドラマで学ぶ英語と文化	2前		2							1
	歌で学ぶ英語と文化	2前		2							1
	メディアで学ぶ英語と文化	2前		2							1
	キャリアのための英語と文化	2前		2							1
	TOEFL Preparation Advanced I	1前		1							1
	TOEFL Preparation Advanced II	1後		1							1
	IELTS Preparation Advanced I	1前		1							1
	IELTS Preparation Advanced II	1後		1							1
	TOEIC Preparation Advanced	1前		1							1
	Media English	2前		2							1
	Academic Listening	2前後		2							1
	Cross Cultural Communication Skills	2前後		2							2
	Discussion & Presentation	2後		2							1
	English for the Workplace	2後		2							1
	Essay Writing	2前後		2							2
	Intensive Reading	2前後		2							2
	World Englishes	2後		2							1
小計(41科目)	—	6	59	0	0	0	0	0	0	20	
全学共通科目・外国語・初修外国語科目	ドイツ語基礎A I	1前	1								1
	ドイツ語基礎B I	1前	1								1
	フランス語基礎A I	1前	1		1						1
	フランス語基礎B I	1前	1								1
	スペイン語基礎A I	1前	1								2
	スペイン語基礎B I	1前	1								2
	中国語基礎A I	1前	1								3
	中国語基礎B I	1前	1								3
	韓国語基礎A I	1前	1								1
	韓国語基礎B I	1前	1								1
	ドイツ語基礎A II	1後	1								1
	ドイツ語基礎B II	1後	1								1
	フランス語基礎A II	1後	1		1						1
フランス語基礎B II	1後	1								1	
スペイン語基礎A II	1後	1								2	
スペイン語基礎B II	1後	1								2	

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通科目・外国語・英語科目	College English (Listening & Speaking) I	1前	1									5
	College English (Reading & Writing) I	1前	1									5
	College English (Listening&Speaking)II	1後	1									5
	College English (Reading & Writing) II	1後	1									5
	College English (Integrated Skills) I	2前	1									5
	College English (Integrated Skills) II	2後	1									5
	TOEFL Preparation Introduction	1前後		1								2
	TOEFL Preparation Intermediate	1前後		1								3
	TOEIC Preparation Introduction	1前後		1								3
	TOEIC Preparation Intermediate	1前後		1								3
	IELTS Preparation Introduction	1前後		1								2
	IELTS Preparation Intermediate	1前後		1								2
	基礎からのコミュニケーション英文法	1後		2								1
	自分でデザインする英語学習	1前		2								1
	英語発音トレーニング	1前後		2								1
	英語読解トレーニング	1前後		2								1
	Presentation Skills Basic	1後		2								1
	Discussion Skills Basic	1前		2								1
	Writing Skills (Paragraph)	1前後		2								2
	Presentation Skills Intermediate	1前後		2								2
	Discussion Skills Intermediate	1前後		2					1			1
	Writing Skills (Essay)	1前後		2								2
	多読で学ぶ英語と文化 I (名称変更)	2前後		2								3
	多読で学ぶ英語と文化 II	2後		2								1
	映画で学ぶ英語と文化	2前後		2								5
	ドラマで学ぶ英語と文化	2前後		2								4
	歌で学ぶ英語と文化	2前後		2								3
	メディアで学ぶ英語と文化	2前後		2								3
	キャリアのための英語と文化	2前後		2								3
	TOEFL Preparation Advanced I	1前		1								1
	TOEFL Preparation Advanced II	1後		1								1
	IELTS Preparation Advanced I	1前		1								1
	IELTS Preparation Advanced II	1後		1								1
	TOEIC Preparation Advanced	1前後		1								1
	Media English	2前後		2								2
	Academic Listening	2前後		2								1
	Cross Cultural Communication Skills	2前後		2								1
	Discussion & Presentation	2後		2								1
	English for the Workplace	2後		2								1
	Essay Writing	2前後		2								2
	Intensive Reading	2前後		2								2
	World Englishes	2後		2								1
小計(42科目)	—	6	61	0	0	0	0	1	0	0	39	
全学共通科目・外国語・初修外国語科目	ドイツ語基礎A I	1前	1									1
	ドイツ語基礎B I	1前	1									1
	フランス語基礎A I	1前	1					0				1
	フランス語基礎B I	1前	1									1
	スペイン語基礎A I	1前	1									2
	スペイン語基礎B I	1前	1									2
	中国語基礎A I	1前	1									4
	中国語基礎B I	1前	1									4
	韓国語基礎A I	1前	1									1
	韓国語基礎B I	1前	1									2
ドイツ語基礎A II	1後	1									1	
ドイツ語基礎B II	1後	1									1	
フランス語基礎A II	1後	1						0			1	
フランス語基礎B II	1後	1									1	
スペイン語基礎A II	1後	1									2	
スペイン語基礎B II	1後	1									2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助	
全学共通科目・持続社会探究・国際理解	戦後の日本と世界	2前後	2								1
	近現代のアジアA	2前	2								1
	近現代のアジアB	2後	2								1
	近現代の欧米A	2前	2								1
	近現代の欧米B	2後	2								1
	中東地域史	2前	2								1
	現代の国際政治	2前	2								1
	グローバル経済論	2前	2								1
	国際文化交流論	2後	2								1
	異文化理解トピックス(ドイツ語圏)	2後	2			1					1
	異文化理解トピックス(フランス語圏)	2後	2								1
	異文化理解トピックス(スペイン語圏)	2後	2								1
	異文化理解トピックス(中国語圏)	2後	2								1
	異文化理解トピックス(韓国語圏)	2後	2								1
	異文化理解トピックス(イスラーム世界)	2後	2								1
小計(15科目)	—	0	30	0	1	0	0	0	0	0	12
全学共通科目・持続社会探究・人権・共生	裁判と社会	2後	2								1
	生命倫理と法	2後	2								1
	地域福祉論	2前	2								1
	人権とジェンダー	2前	2								1
	こころの健康と臨床	2前	2								1
	老人福祉論	2前	2								1
	福祉社会に生きる	2後	2								1
	特別支援教育概論	2前	2								1
	共生社会トピックス(アートと社会)	2前	2								1
	共生社会トピックス(日本女性史)	2後	2								1
小計(10科目)	—	0	20	0	0	0	0	0	0	0	9
全学共通科目・持続社会探究・実践	成蹊を知る	1後	2								1
	情報保障とボランティア	1前	2								1
	野外自然教育論	1前	2								1
	地元学実践演習	1後	2								1
	武蔵野地域研究	1後	2								1
	武蔵野市寄附講座	1後	2								1
	大学生生活と相互理解	1後	2								2
	成蹊グローバルセミナーA	1前	2								1
	成蹊グローバルセミナーB	1後	2								1
	武蔵野地域連携セミナー	1後	2								1
小計(10科目)	—	0	20	0	0	0	0	0	0	0	10
全学共通科目 小計(259科目)		6	469	0	1	0	0	0	0	0	153

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助		
												授
全学共通科目・持続社会探究・国際理解	戦後の日本と世界	2後	2									2
	近現代のアジアA	2前	2									1
	近現代のアジアB	2後	2									1
	近現代の欧米A	2前	2									2
	近現代の欧米B	2後	2									2
	中東地域史	2後	2									1
	現代の国際政治	2前	2									1
	グローバル経済論	2後	2									1
	国際文化交流論	2後	2									1
	異文化理解トピックス(ドイツ語圏)	2前	2									1
	異文化理解トピックス(フランス語圏)	2前	2				0					1
	異文化理解トピックス(スペイン語圏)	2後	2									1
	異文化理解トピックス(中国語圏)	2後	2									1
	異文化理解トピックス(韓国語圏)	2前	2									1
	異文化理解トピックス(イスラーム世界)	2前	2									1
異文化理解トピックス(ドイツ語圏で学ぶ世界)	2前	2									1	
異文化理解トピックス(スペイン語圏で学ぶ世界)	2前	2									1	
異文化理解トピックス(韓国語圏で学ぶ世界)	2後	2									1	
小計(18科目)	—	0	36	0	0	0	0	0	0	0	0	18
全学共通科目・持続社会探究・人権・共生	裁判と社会	2後	2									1
	生命倫理と法(未開講)	休講	2									0
	地域福祉論	2前	2									1
	人権とジェンダー	2後	2									1
	こころの健康と臨床	2前後	2									2
	高齢者福祉論(名称変更)	2前	2									1
	福祉社会に生きる	2後	2									1
	特別支援教育概論	2前後	2									1
	共生社会トピックス(アートと社会)	2前	2									1
	共生社会トピックス(日本女性史)	2後	2									1
共生社会トピックス(英語学領域: English 402)	2後	2									1	
共生社会トピックス(イノベーションの歴史と現代)	2前	2									1	
小計(12科目)	—	0	24	0	0	0	0	0	0	0	0	10
全学共通科目・実践	成蹊を知る	1後	2									1
	情報保障とボランティア	1前	2									4
	野外自然教育論	1後	2									1
	地元学実践演習	1後	2									1
	武蔵野地域研究	1前	2									1
	武蔵野市寄附講座	1後	2									1
	大学生生活と相互理解	1前	2									2
	成蹊グローバルセミナーA	1前	2									1
	成蹊グローバルセミナーB	1後	2									1
	武蔵野地域連携セミナー	1前後	2									3
小計(10科目)	—	0	20	0	0	0	0	0	0	0	0	20
全学共通科目 小計(271科目)		6	493	0	0	0	0	1	0	0	0	222

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通科目・外国語・英語科目	College English (Listening & Speaking) I	1前	1								5
	College English (Reading & Writing) I	1前	1								5
	College English (Listening&Speaking)II	1後	1								5
	College English (Reading & Writing) II	1後	1								5
	College English (Integrated Skills) I	2前	1								5
	College English (Integrated Skills) II	2後	1								5
	TOEFL Preparation Introduction	1前後		1							1
	TOEFL Preparation Intermediate	1前後		1							2
	TOEIC Preparation Introduction	1前後		1							3
	TOEIC Preparation Intermediate	1前後		1							4
	IELTS Preparation Introduction	1前後		1							2
	IELTS Preparation Intermediate	1前後		1							2
	基礎からのコミュニケーション英文法	1前後		2							1
	自分でデザインする英語学習	1前		2							1
	英語発音トレーニング	1前後		2							1
	英語読解トレーニング	1前後		2							2
	Presentation Skills Basic	1前後		2							2
	Discussion Skills Basic	1前後		2			1				1
	Writing Skills (Paragraph)	1後		2							1
	Presentation Skills Intermediate	1後		2							1
	Discussion Skills Intermediate	1前		2			1				1
	Writing Skills (Essay)	1後		2							1
	多読で学ぶ英語と文化 I (名特変更)	2前後		2							4
	多読で学ぶ英語と文化 II	2後		2							1
	映画で学ぶ英語と文化	2前後		2							5
	ドラマで学ぶ英語と文化	2前後		2							3
	歌で学ぶ英語と文化	2前後		2							3
	メディアで学ぶ英語と文化	2前後		2							3
	キャリアのための英語と文化	2前後		2							2
	TOEFL Preparation Advanced I	1前		1							1
	TOEFL Preparation Advanced II	1後		1							1
	IELTS Preparation Advanced I	1前		1							1
	IELTS Preparation Advanced II	1後		1							1
	TOEIC Preparation Advanced	1前後		1							2
	Media English	2前後		2							2
	Academic Listening	2前後		2							1
Cross Cultural Communication Skills (本課程)	休講		2							0	
Discussion & Presentation	2後		2							1	
English for the Workplace	2前		2							1	
Essay Writing	2後		2							1	
Intensive Reading	2前		2							1	
World Englishes	2後		2							1	
小計(42科目)	—	6	61	0	0	0	1	0	0	36	
全学共通科目・外国語・初修外国語科目	ドイツ語基礎A I	1前	1							1	
	ドイツ語基礎B I	1前	1							1	
	フランス語基礎A I	1前	1		0					1	
	フランス語基礎B I	1前	1							1	
	スペイン語基礎A I	1前	1							3	
	スペイン語基礎B I	1前	1							3	
	中国語基礎A I	1前	1							3	
	中国語基礎B I	1前	1							4	
	韓国語基礎A I	1前	1							1	
	韓国語基礎B I	1前	1							1	
	ドイツ語基礎A II	1後	1							1	
	ドイツ語基礎B II	1後	1							1	
	フランス語基礎A II	1後	1		0					1	
	フランス語基礎B II	1後	1							1	
スペイン語基礎A II	1後	1							3		
スペイン語基礎B II	1後	1							3		

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通科目・外国語・英語科目	College English (Listening & Speaking) I	1前	1								5
	College English (Reading & Writing) I	1前	1								5
	College English (Listening & Speaking) II	1後	1								5
	College English (Reading & Writing) II	1後	1								5
	College English (Integrated Skills) I	2前	1								5
	College English (Integrated Skills) II	2後	1								5
	TOEFL Preparation Introduction	1前後		1							3
	TOEFL Preparation Intermediate	1前後		1							2
	TOEIC Preparation Introduction	1前後		1							4
	TOEIC Preparation Intermediate	1前後		1							3
	IELTS Preparation Introduction	1前後		1							2
	IELTS Preparation Intermediate	1前後		1							2
	基礎からのコミュニケーション英文法	1前後		2							2
	自分でデザインする英語学習	1前		2							1
	英語発音トレーニング	1前後		2							1
	英語読解トレーニング	1前		2							1
	Presentation Skills Basic	1前後		2							1
	Discussion Skills Basic	1前後		2							2
	Writing Skills (Paragraph)	1前後		2							2
	Presentation Skills Intermediate	1後		2							1
	Discussion Skills Intermediate	1後		2							1
	Writing Skills (Essay)	1後		2							1
	多読で学ぶ英語と文化 I (名特変更)	2前後		2							4
	多読で学ぶ英語と文化 II	2前後		2							1
	映画で学ぶ英語と文化	2前後		2							5
	ドラマで学ぶ英語と文化	2前後		2							4
	歌で学ぶ英語と文化	2前後		2							3
	メディアで学ぶ英語と文化	2前後		2							4
	キャリアのための英語と文化	2前後		2							3
	TOEFL Preparation Advanced I	1前		1							1
	TOEFL Preparation Advanced II	1後		1							1
	IELTS Preparation Advanced I	1前		1							1
	IELTS Preparation Advanced II	1後		1							1
	TOEIC Preparation Advanced	1後		1							1
	Media English	2前後		2							2
	Academic Listening	2前後		2							1
Cross Cultural Communication Skills	2前後		2							2	
Discussion & Presentation	2後		2							1	
English for the Workplace	2前		2							1	
Essay Writing	2後		2							1	
Intensive Reading	2前後		2							2	
World Englishes	2後		2							1	
小計(42科目)	—	6	61	0	0	0	0	0	0	40	
全学共通科目・外国語・初修外国語科目	ドイツ語基礎A I	1前	1							1	
	ドイツ語基礎B I	1前	1							1	
	フランス語基礎A I	1前	1		0					1	
	フランス語基礎B I	1前	1							1	
	スペイン語基礎A I	1前	1							3	
	スペイン語基礎B I	1前	1							2	
	中国語基礎A I	1前	1							3	
	中国語基礎B I	1前	1							4	
	韓国語基礎A I	1前	1							1	
	韓国語基礎B I	1前	1							1	
	ドイツ語基礎A II	1後	1							1	
	ドイツ語基礎B II	1後	1							1	
	フランス語基礎A II	1後	1							1	
	フランス語基礎B II	1後	1							1	
スペイン語基礎A II	1後	1							3		
スペイン語基礎B II	1後	1							3		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必	選	自	教	准	講	助	助		
			修	択	由	授	授	師	教	手		
全学共通科目・持続社会探究・国際理解	戦後の日本と世界	2後		2								3
	近現代のアジアA	2前		2								1
	近現代のアジアB	2後		2								1
	近現代の欧米A	2前		2								2
	近現代の欧米B	2後		2								2
	中東地域史	2前		2								1
	現代の国際政治	2前		2								1
	グローバル経済論	2前		2								1
	国際文化交流論	2後		2								1
	異文化理解トピックス(ドイツ語圏)	2前		2								1
	異文化理解トピックス(フランス語圏)	2前		2		0						1
	異文化理解トピックス(スペイン語圏)	2後		2								1
異文化理解トピックス(中国語圏)	2後		2								1	
異文化理解トピックス(韓国語圏)	2後		2								1	
異文化理解トピックス(イスラーム世界)	2前		2								1	
小計(15科目)	—	0	30	0	0	0	0	0	0	0	0	16
全学共通科目・権・共生・持続社会探究・人	裁判と社会	2後		2								1
	生命倫理と法	2後		2								1
	地域福祉論	2前		2								1
	人権とジェンダー	2後		2								1
	こころの健康と臨床	2前		2								2
	高齢者福祉論(名称変更)	2前		2								1
	福祉社会に生きる	2後		2								1
	特別支援教育概論	2前		2								1
	共生社会トピックス(アートと社会)	2前		2								1
	共生社会トピックス(日本女性史)	2後		2								1
小計(10科目)	—	0	20	0	0	0	0	0	0	0	9	
全学共通科目・持続社会探究・実践	成蹊を知る	1後		2								1
	情報保障とボランティア	1前		2								4
	野外自然教育論	1後		2								1
	地元学実践演習	1後		2								1
	武蔵野地域研究	1後		2								1
	武蔵野市寄附講座	1後		2								1
	大学生活と相互理解	1後		2								2
	成蹊グローバルセミナーA	1前		2								1
	成蹊グローバルセミナーB	1後		2								1
	武蔵野地域連携セミナー	1前		2								3
小計(10科目)	—	0	20	0	0	0	0	0	0	0	15	
全学共通科目 小計(266科目)	—	6	483	0	0	0	1	0	0	0	0	218

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必	選	自	教	准	講	助	助		
			修	択	由	授	授	師	教	手		
全学共通科目・持続社会探究・国際理解	戦後の日本と世界	2後		2								2
	近現代のアジアA	2前		2								1
	近現代のアジアB	2後		2								1
	近現代の欧米A	2前		2								2
	近現代の欧米B	2後		2								2
	中東地域史	2前		2								1
	現代の国際政治	2前		2								1
	グローバル経済論	2前		2								1
	国際文化交流論	2後		2								1
	異文化理解トピックス(ドイツ語圏) (未開講)	2前		2								0
	異文化理解トピックス(フランス語圏)	2前		2								1
	異文化理解トピックス(スペイン語圏)	2後		2								1
異文化理解トピックス(中国語圏)	2後		2								1	
異文化理解トピックス(韓国語圏)	2後		2								1	
異文化理解トピックス(イスラーム世界)	2後		2								1	
小計(15科目)	—	0	30	0	0	0	0	0	0	0	0	14
全学共通科目・権・共生・持続社会探究・人	裁判と社会	2後		2								1
	生命倫理と法 (未開講)	2後		2								0
	地域福祉論	2前		2								1
	人権とジェンダー	2前		2								1
	こころの健康と臨床	2前		2								2
	高齢者福祉論(名称変更)	2前		2								1
	福祉社会に生きる	2後		2								1
	特別支援教育概論	2前		2								1
	共生社会トピックス(アートと社会)	2前		2								1
	共生社会トピックス(日本女性史)	2後		2								1
小計(10科目)	—	0	20	0	0	0	0	0	0	0	9	
全学共通科目・持続社会探究・実践	成蹊を知る	1後		2								1
	情報保障とボランティア	1前		2								4
	野外自然教育論	1後		2								1
	地元学実践演習	1後		2								1
	武蔵野地域研究	1後		2								1
	武蔵野市寄附講座	1後		2								1
	大学生活と相互理解	1後		2								2
	成蹊グローバルセミナーA	1前		2								1
	成蹊グローバルセミナーB	1後		2								1
	武蔵野地域連携セミナー	1前		2								3
小計(10科目)	—	0	20	0	0	0	0	0	0	0	15	
全学共通科目 小計(266科目)	—	6	483	0	0	0	1	0	0	0	0	216

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通科目・外国語・英語科目	College English (Listening & Speaking) I	1前	1								5
	College English (Reading & Writing) I	1前	1								5
	College English (Listening & Speaking) II	1後	1								5
	College English (Reading & Writing) II	1後	1								5
	College English (Integrated Skills) I	2前	1								3
	College English (Integrated Skills) II	2後	1								3
	TOEFL Preparation Introduction	1前後	1								2
	TOEFL Preparation Intermediate	1前後	1								2
	TOEIC Preparation Introduction	1前後	1								3
	TOEIC Preparation Intermediate	1前後	1								4
	IELTS Preparation Introduction	1前後	1								2
	IELTS Preparation Intermediate	1前後	1								2
	基礎からのコミュニケーション英文法	1前後	2								2
	自分でデザインする英語学習	1前後	2								1
	英語発音トレーニング	1前後	2								1
	英語読解トレーニング	1前後	2								1
	Presentation Skills Basic	1前後	2								1
	Discussion Skills Basic	1前後	2								2
	Writing Skills (Paragraph)	1前後	2								2
	Presentation Skills Intermediate	1後	2								1
	Discussion Skills Intermediate	1後	2								1
	Writing Skills (Essay)	1後	2								1
	多読で学ぶ英語と文化 I (名称変更)	2前	2								1
	多読で学ぶ英語と文化 II	2後	2								1
	映画で学ぶ英語と文化	2前	2								1
	ドラマで学ぶ英語と文化	2前	2								1
	歌で学ぶ英語と文化	2前	2								1
	メディアで学ぶ英語と文化	2前	2								1
	キャリアのための英語と文化	2前	2								1
	TOEFL Preparation Advanced I	1前	1								1
	TOEFL Preparation Advanced II	1後	1								1
	IELTS Preparation Advanced I	1前	1								1
	IELTS Preparation Advanced II	1後	1								1
	TOEIC Preparation Advanced	1前後	1								1
	Media English	2前	2								1
	Academic Listening	2前後	2								1
	Cross Cultural Communication Skills	2前後	2								2
	Discussion & Presentation	2後	2								1
	English for the Workplace	2後	2								1
	Essay Writing	2前後	2								2
	Intensive Reading	2前後	2								2
	World Englishes	2後	2								1
小計(42科目)	—	6	61	0	0	0	0	0	0	33	
全学共通科目・外国語・初修外国語科目	ドイツ語基礎A I	1前	1								1
	ドイツ語基礎B I	1前	1								1
	フランス語基礎A I	1前	1			0					1
	フランス語基礎B I	1前	1								1
	スペイン語基礎A I	1前	1								3
	スペイン語基礎B I	1前	1								2
	中国語基礎A I	1前	1								4
	中国語基礎B I	1前	1								4
	韓国語基礎A I	1前	1								1
	韓国語基礎B I	1前	1								1
	ドイツ語基礎A II	1後	1								1
	ドイツ語基礎B II	1後	1								1
	フランス語基礎A II	1後	1			0					1
	フランス語基礎B II	1後	1								1
	スペイン語基礎A II	1後	1								3
	スペイン語基礎B II	1後	1								2
	中国語基礎A II	1後	1								4
	中国語基礎B II	1後	1								4
	韓国語基礎A II	1後	1								1
	韓国語基礎B II	1後	1								1
ドイツ語演習コミュニケーション I	1前	2								2	
ドイツ語演習コミュニケーション II	1後	2								2	
ドイツ語演習コミュニケーション III	2前	2								1	
ドイツ語演習コミュニケーション IV	2後	2								1	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
	ドイツ語演習コミュニケーションV	2前		2								1
	フランス語演習コミュニケーションI	1前		2								1
	フランス語演習コミュニケーションII	1後		2								1
	フランス語演習コミュニケーションIII	2前		2								1
	フランス語演習コミュニケーションIV	2後		2								1
	フランス語演習コミュニケーションV	2前		2								1
	スペイン語演習コミュニケーションI	1前		2								2
	スペイン語演習コミュニケーションII	1後		2								2
	スペイン語演習コミュニケーションIII	2前		2								1
	スペイン語演習コミュニケーションIV	2後		2								1
	スペイン語演習コミュニケーションV	2前		2								1
	中国語演習コミュニケーションI	1前		2								5
	中国語演習コミュニケーションII	1後		2								5
	中国語演習コミュニケーションIII	2前		2								1
	中国語演習コミュニケーションIV	2後		2								1
	中国語演習コミュニケーションV	2前		2								1
	韓国語演習コミュニケーションI	1前		2								2
	韓国語演習コミュニケーションII	1後		2								2
	韓国語演習コミュニケーションIII	2前		2								1
	韓国語演習コミュニケーションIV	2後		2								1
	韓国語演習コミュニケーションV	2前		2								1
	ドイツ語演習言語と文化I	2前		2								1
	ドイツ語演習言語と文化II	2後		2								1
	ドイツ語演習言語と文化III	2前		2								1
	ドイツ語演習言語と文化IV	2後		2								1
	フランス語演習言語と文化I	2前		2			1					
	フランス語演習言語と文化II	2後		2			1					
	フランス語演習言語と文化III	2前		2								1
	フランス語演習言語と文化IV	2後		2								1
	スペイン語演習言語と文化I	2前		2								1
	スペイン語演習言語と文化II	2後		2								1
	スペイン語演習言語と文化III	2前		2								1
	スペイン語演習言語と文化IV	2後		2								1
	中国語演習言語と文化I	2前		2								1
	中国語演習言語と文化II	2後		2								1
	中国語演習言語と文化III	2前		2								1
	中国語演習言語と文化IV	2後		2								1
	韓国語演習言語と文化I	2前		2								1
	韓国語演習言語と文化II	2後		2								1
	韓国語演習言語と文化III	2前		2								1
	韓国語演習言語と文化IV	2後		2								1
	ドイツ語演習検定対策I	2前		2								1
	ドイツ語演習検定対策II	2後		2								1
	ドイツ語演習検定対策III	2前		2								1
	ドイツ語演習検定対策IV	2後		2								1
	フランス語演習検定対策I	2前		2								1
	フランス語演習検定対策II	2後		2								1
	フランス語演習検定対策III	2前		2								1
	フランス語演習検定対策IV	2後		2								1
	スペイン語演習検定対策I	2前		2								1
	スペイン語演習検定対策II	2後		2								1
	スペイン語演習検定対策III	2前		2								1
	スペイン語演習検定対策IV	2後		2								1
	中国語演習検定対策I	2前		2								1
	中国語演習検定対策II	2後		2								1
	中国語演習検定対策III	2前		2								1
	中国語演習検定対策IV	2後		2								1
	韓国語演習検定対策I	2前		2								1
	韓国語演習検定対策II	2後		2								1
	韓国語演習検定対策III	2前		2								1
	韓国語演習検定対策IV	2後		2								1
	ドイツ語演習プレゼンテーションI	2前		2								1
	ドイツ語演習プレゼンテーションII	2後		2								1
	フランス語演習プレゼンテーションI	2前		2								1
	フランス語演習プレゼンテーションII	2後		2								1
	スペイン語演習プレゼンテーションI	2前		2								1
	スペイン語演習プレゼンテーションII	2後		2								1
	中国語演習プレゼンテーションI	2前		2								1
	中国語演習プレゼンテーションII	2後		2								1

全学共通科目・外国語・初修外国語科目

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
外国語・外国語・初修	韓国語演習プレゼンテーションⅠ	2前		2							1
	韓国語演習プレゼンテーションⅡ	2後		2							1
	世界の言語(ロシア語Ⅰ)	1前		1							1
	世界の言語(ロシア語Ⅱ)	1後		1							1
	世界の言語(タイ語Ⅰ)	1前		1							1
	世界の言語(タイ語Ⅱ)	1後		1							1
	世界の言語(イタリア語Ⅰ)	1前		1							1
	世界の言語(イタリア語Ⅱ)	1後		1							1
	小計(101科目)	—	0	176	0	1	0	0	0	0	0
全学共通科目・技能・日本語力科目	実践日本語表現	1前後		2							4
	実践話し方入門	1前後		2							1
	日本語表現講義	1前後		2							1
	実践漢字講座	1前後		2							1
	語彙・読解講座	1後		2							1
	古典に学ぶ日本語表現	1前後		2							2
	実用文書の作り方・情報の伝え方	2前後		2							2
	テーマ別日本語表現(文芸をたのしむ)	2後		2							1
	テーマ別日本語表現(成語俳句教室)	2前		2							1
	テーマ別日本語表現(源氏物語を読む)	2前		2							1
	テーマ別日本語表現(文章表現を磨く)	2前後		2							1
テーマ別日本語表現(話し方を磨く)	2前		2							1	
小計(12科目)	—	0	24	0	0	0	0	0	0	0	12
全学共通科目・技能・キャリア教育	キャリアプランニング	1前後		2							5
	ビジネストレーニングセミナー	1後		2							2
	キャリアセミナー	2前後		2							1
	グローバルキャリアセミナー	2後		2							1
	キャリア発展講義	2後		2							1
	日本企業の現状と展望	2後		2							2
	インターンシップ準備講座	3前		2							1
	インターンシップ実習	3後		2							1
	発展インターンシップ準備講座	3前		2							1
	発展インターンシップ実習	3後		2							1
小計(10科目)	—	0	20	0	0	0	0	0	0	0	8
全学共通科目・技能・情報	情報基礎	1前		2							2
	情報活用A	1後		2							2
	情報活用B	1後		2							1
	情報活用C	1後		2							1
	情報活用D	1後		2							1
	情報活用E	1後		2							1
	情報活用F	1後		2							1
小計(7科目)	—	0	14	0	0	0	0	0	0	0	7
全学共通科目・技能・健康・スポーツ科目	健康・スポーツ演習A	1後		2							5
	健康・スポーツ演習B	1後		2							19
	スポーツと科学	1前		2							1
	健康と科学	1前		2							1
	スポーツと文化	1後		2							1
	スポーツと社会	1後		2							1
小計(6科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	0	19
全学共通科目・教養基礎・人文学	哲学の基礎	1前後		2							3
	倫理学の基礎	1前後		2							2
	現代社会と哲学	1後		2							1
	現代社会と倫理学	1後		2							1
	文学への招待	1前後		2		0					3
	芸術への招待	1前後		2							2
	カルチュラル・スタディーズ	1前後		2							4
	心理学の基礎	1前後		2							3
	自己理解の心理学	1前後		2							3
	教育原理	1前後		2							2
	教育心理学	1前後		2							2
小計(11科目)	—	0	22	0	0	0	0	0	0	0	22

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通科目・教養基礎・社会科学	政治学の基礎	1前後		2								1
	社会学と現代	1前後		2								2
	日本国憲法	1前後		2								2
	市民生活と法A	1前		2								1
	市民生活と法B	1後		2								1
	現代のマスメディア	1前		2								1
	社会心理学入門	1前後		2								1
	企業と社会	1前後		2								1
	学校と社会	1後		2								1
	近現代日本史A	1前		2								2
	近現代日本史B	1後		2								3
	現代社会の地理	1前後		2								2
小計(12科目)	—	0	24	0	0	0	0	0	0	0	16	
全学共通科目・教養基礎・自然科学	物質の究極像	1後		2								1
	人間と進化	1後		2								1
	脳科学と心	1前後		2								1
	天文学入門	1前		2								2
	薬はなぜ効くか	1後		2								1
	身の回りの科学	1前		2								1
	科学史	1前		2								1
	科学技術の発展と歴史	1後		2								1
	サイエンス・トピックス(熱と光の科学)	1後		2								1
	サイエンス・トピックス(物質の科学)	1前		2								1
	サイエンス・トピックス(数の世界)	1前		2								1
	サイエンス・トピックス(生命の科学)	1後		2								1
	サイエンス・トピックス(文系のための数学)	1後		2								1
	サイエンス・トピックス(文系のための科学実験)	1後		2								2
小計(14科目)	—	0	28	0	0	0	0	0	0	0	16	
全学共通科目・地域・環境・持続社会探究・環境	地球と環境	2前		2								1
	気象と地球環境	2後		2								1
	自然環境と文明	2前		2								1
	日本列島の歴史と災害	2前		2								1
	日本の国土と社会	2前後		2								1
	外国の自然と社会A	2後		2								1
	外国の自然と社会B	2前		2								1
	地域づくり論	2前		2								1
	環境科学トピックス(生命と環境)	2前		2								1
	環境科学トピックス(食料と環境)	2後		2								1
小計(10科目)	—	0	20	0	0	0	0	0	0	0	9	
全学共通科目・持続社会探究・国際理解	戦後の日本と世界	2前後		2								1
	近現代のアジアA	2前		2								1
	近現代のアジアB	2後		2								1
	近現代の欧米A	2前		2								1
	近現代の欧米B	2後		2								1
	中東地域史	2前		2								1
	現代の国際政治	2前		2								1
	グローバル経済論	2前		2								1
	国際文化交流論	2後		2								1
	異文化理解トピックス(ドイツ語圏)	2後		2								1
	異文化理解トピックス(フランス語圏)	2後		2		1						1
	異文化理解トピックス(スペイン語圏)	2後		2								1
	異文化理解トピックス(中国語圏)	2後		2								1
	異文化理解トピックス(韓国語圏)	2後		2								1
	異文化理解トピックス(イスラム世界)	2後		2								1
小計(15科目)	—	0	30	0	1	0	0	0	0	0	12	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
権・共生 全学共通科目・持統社会探究・人	裁判と社会	2後		2								1
	生命倫理と法	2後		2								1
	地域福祉論	2前		2								1
	人権とジェンダー	2前		2								1
	こころの健康と臨床	2前		2								1
	高齢者福祉論(名称変更)	2前		2								1
	福祉社会に生きる	2後		2								1
	特別支援教育概論	2前		2								1
	共生社会トピックス(アートと社会)	2前		2								1
	共生社会トピックス(日本女性史)	2後		2								1
小計(10科目)	—	0	20	0	0	0	0	0	0	0	9	
全額共通科目・持統社会探究・実践	成蹊を知る	1後		2								1
	情報保障とボランティア	1後		2								1
	野外自然教育論(未開講)	1後		2								0
	地元学実践演習	1後		2								1
	武蔵野地域研究	1後		2								1
	武蔵野市寄附講座	1後		2								1
	大学生生活と相互理解	1後		2								2
	成蹊グローバルセミナーA	1前		2								1
	成蹊グローバルセミナーB	1後		2								1
	武蔵野地域連携セミナー	1前後		2								3
小計(10科目)	—	0	20	0	0	0	0	0	0	0	11	
全学共通科目 小計(200科目)		6	471	0	1	0	0	0	0	0	197	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目・ゼミナール科目	基礎ゼミナール	1前	2			5	0	0				7
	プログラミング演習	2前		2		1						
	理論・計量ワークショップ	2後		2		2	1					1
	計量実践ワークショップ	3後		2		1						
	経済学ワークショップ	3通		4		1						
	上級ゼミナールⅠ	3前	2			4	2	0				
	上級ゼミナールⅡ	3後	2			4	2	0				
	卒業研究	4通	4			4	2	0				
小計(8科目)		10	10	0	6	2	0	0	0	0	7	
専門科目・基盤科目・基盤Ⅰ	ミクロ経済学Ⅰ	1前		2			1					
	マクロ経済学Ⅰ	1前		2		1						
	計量経済学Ⅰ	1前		2		1						
	経済数学Ⅰ	1前		2		1						
	ミクロ経済学Ⅱ	1後		2		1						
	マクロ経済学Ⅱ	1後		2								1
	計量経済学Ⅱ	1後		2		1						
	経済数学Ⅱ	1後		2		1						
	ミクロ経済学Ⅲ	2前		2		1						
	マクロ経済学Ⅲ	2前		2			1	0				
	計量経済学Ⅲ	2前		2		1						
経済数学Ⅲ	2前		2		1							
小計(12科目)		0	24	0	5	2	0	0	0	0	1	
専門科目・基盤科目・基盤Ⅱ	ゲーム理論	2前		2		1						
	情報の経済学	2後		2		1						
	経済発展論	2前		2								1
	行動経済学	2前		2		1						
	国際マクロ経済学	2前		2			1	0				1
	応用計量経済学	2後		2								1
	人口学	2前		2								1
	社会経済地理学	1後		2								1
	社会学	2前		2								1
小計(9科目)		0	18	0	2	1	0	0	0	0	6	
専門科目・総合科目・歴史	経済史の基礎	1後		2								1
	数量経済史	2前		2								1
	経済学史	2前		2								1
	現代日本経済	2後		2								1
	社会思想史	2後		2								1
小計(5科目)		0	10	0	0	0	0	0	0	0	4	
専門科目・社会理解科	労働法	2後		2								1
	企業会計	2前		2								1
	社会理解実践講義	2前		2								1
	経済実務講義	2前		2								1
小計(4科目)		0	8	0	0	0	0	0	0	0	4	
専門科目・応用発展科目・応用科目	産業組織論A	2前		2								1
	産業組織論B	2後		2								1
	国際経済学A	2前		2								1
	国際経済学B	2後		2								1
	組織の経済学	2後		2								1
	法と経済	2後		2								1
	労働経済学	2後		2								1
	金融論A	2前		2		1						
	金融論B	2後		2		1						
	ファイナンスA	2前		2								1
	ファイナンスB	2後		2								1
	国際金融論	2後		2								2
	財政学A	2前		2								1
	財政学B	2後		2		1						
	公共経済学	2後		2								1
都市経済学	2後		2		1							
教育経済学	2後		2			1	0					
環境経済学A	2前		2		1							
小計(18科目)		0	36	0	2	2	0	0	0	0	6	
専門科目・発展科目・応用発展科	Advanced Microeconomics I	3前		2		1						
	Advanced Macroeconomics I	3前		2			1	0				
	Advanced Econometrics I	3前		2		1						
	Advanced Microeconomics II	3後		2			1					
	Advanced Macroeconomics II	3後		2		1						
	Advanced Econometrics II	3後		2		1						
小計(6科目)		0	12	0	3	2	0	0	0	0	0	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
広域基礎科目	日本史概論Ⅰ	2前		2								1
	日本史概論Ⅱ	2後		2								1
	世界史概論Ⅰ	2前		2								1
	世界史概論Ⅱ	2後		2								1
	人文地理学	2前		2								1
	自然地理学	2後		2								1
	地誌学	2後		2								1
	現代の政治学	2後		2								1
小計(8科目)	—	0	16	0	0	0	0	0	0	0	6	
教職課程の大学が独自に設	教職特論演習Ⅰ	3後			2							1
	教職特論演習Ⅱ	4前			2							1
	学校経営と学校図書館	2前			2							1
	学校図書館メディアの構成	2後			2							1
	学習指導と学校図書館	2前			2							1
	読書と豊かな人間性	2後			2							1
	情報メディアの活用	2後			2							1
小計(7科目)	—	0	0	14	0	0	0	0	0	0	4	
教職の教科及び教職に関する科目	教職論	1前後			2							1
	教育課程論	2前			2							1
	道德教育の指導法	3前			2							2
	総合的な学習の時間の指導法	3前			2							1
	特別活動の指導法	3前			2							1
	教育方法論	2前			2							4
	生徒・進路指導論	1集中			2							2
	教育相談	2前			2							2
	教育実習論	3後			1							3
	教育実習(中・高)	4通			5							3
	教育実習(高)	4通			3							3
	教職実践演習(中・高)	4後			2							4
	社会科教育法A	3前			2							1
	社会科教育法B	3前			2							1
社会科・地理歴史科教育法	2後			2							1	
社会科・公民科教育法	2後			2							1	
公民科教育法	3後			2							1	
小計(17科目)	—	0	0	37	0	0	0	0	0	0	9	
専門科目 小計(94科目)	—	10	134	51	6	2	0	0	0	0	36	
合計(354科目)	—	16	605	51	6	2	0	0	0	0	222	

卒業要件及び履修方法

4年以上在学し、かつ、次のすべての要件を満たした上で、124単位以上を修得すること。

(1) 全学共通科目にあつては、次の要件を満たした上で28単位以上修得すること。

①「外国語(英語科目、初修外国語科目)」「技能(日本語力科目、キャリア教育科目、情報基盤科目、健康・スポーツ科目)」から16単位以上(このうち英語科目必修6単位を含む)
「教養基礎」「持続社会探究」から8単位以上

(2) 経済数理学科専門科目にあつては、次の要件を満たした上で68単位以上修得すること。

①「ゼミナール科目」: 必修科目10単位を含み12単位以上
②「専門科目」: 次の要件を満たした上で50単位以上
基盤科目: 基盤Ⅰから18単位以上、基盤Ⅱから8単位以上
総合科目: 制度・歴史から2単位以上、社会理解から2単位以上を含み6単位以上
応用発展科目: 応用科目から12単位以上、
発展科目から6単位以上

(3) 卒業に必要な単位124単位のうち、(1)(2)から規定単位数を差し引いた残り28単位については、(1)(2)において規定単位数以上を修得した科目の単位を合計する。

(履修科目の登録の上限: 40単位(年間))

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

(別紙 EE令2-1) のとおり。

【令和3年度】

(別紙 EE令3-1) のとおり。

【令和4年度】

(別紙 EE令4-1) のとおり。

【令和5年度】

(別紙 EE令5-1) のとおり。

- (注) ・ 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容 (配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など) を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度 (令和4年度開設であれば令和3年度以前) の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
10 科目	319 科目	24 科目	353 科目	10 科目 [0]	332 科目 [13]	27 科目 [3]	369 科目 [16]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	スペイン語演習コミュニケーションⅤ	2	2前	一般	選択	上級科目のため、前年度において履修者が見込まれないと判断したため。2024年度に向けては初級科目の履修者に働きかけを行い、開講予定。
2	ドイツ語演習検定対策Ⅲ	2	2前	一般	選択	上級科目のため、前年度において履修者が見込まれないと判断したため。2024年度に向けては初級科目の履修者に働きかけを行い、開講予定。
3	ドイツ語演習検定対策Ⅳ	2	2後	一般	選択	上級科目のため、前年度において履修者が見込まれないと判断したため。2024年度に向けては初級科目の履修者に働きかけを行い、開講予定。
4	生命倫理と法	2	2後	一般	選択	隔年開講科目のため。2024年度は開講予定。
5	経済学ワークショップ	4	3通	専門	選択	早期卒業候補者向け科目であり、今年度は対象者なしのため。
6	数量経済史	2	2前	専門	選択	担当予定者が海外研修中のため。2024年度は開講予定。
7	生徒・進路指導論	2	1後	専門	自由	別途「生徒指導論」「進路指導論」を新設したため。教職課程履修学生の履修状況を確認した結果、今後も履修対象者がいないと判断している。
8						
9						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講となった科目は、次年度以降に開講する予定であり、学生の履修機会は確保できると考えられる。なお、当該学生には、履修登録前にポータルサイト等で周知済みである。「生徒・進路指導論」については、教職課程履修学生のみ履修できる科目であり、その履修状況を確認した結果、今後も履修対象者がいないと判断しており、学生への影響はない。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{7}{353} = \boxed{1.98}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考
(1)	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	成蹊高等学校 (必要面積13,704 ㎡)(収容定員:966人) と共用 成蹊中学校 (必要面積12,924 ㎡)(収容定員:801人) と共用 成蹊小学校 (必要面積10,620 ㎡)(収容定員:720人) と共用
	校舎敷地	78,816.78㎡	0㎡	51,241.63㎡	130,058.41㎡	
	運動場用地	87,580.85㎡	0㎡	18,671.01㎡	106,251.86㎡	
	小 計	166,397.63㎡	0㎡	69,912.64㎡	236,310.27㎡	
	そ の 他	8,256.21㎡	237,813.30㎡	0㎡	246,069.51㎡	
	合 計	174,653.84㎡	237,813.30㎡	69,912.64㎡	482,379.78㎡	
(2) 校 舎	専 用		共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学13号館解体のため(3) トラスコンガーデンの耐 震及び一部取壊しのため (4) トラスコンガーデンの耐 震及び一部取壊し後に発 生した面積の誤差並びに 液体窒素保管庫の増築の ため(5)
		88,391.69㎡ 88,405.82㎡ 88,573.57㎡ 92,528.93㎡ (92,528.93㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	88,391.69㎡ 88,405.82㎡ 88,573.57㎡ 92,528.93㎡ (92,528.93㎡)	
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 情報処理学習施設:1 室について、語学学習 施設から情報処理学習 施設に用途変更したた め。(2) 演習室:院生用研究室 に用途変更のため。 (3) 実験実習室:大学13号 館解体のため(3) 情報処理学習施設:実 験実習室に用途変更し たため。(3) 実験実習室:用途変更 による増室のため。 (4) 実験実習室:用途の見 直し及び新校舎建設工 事に伴う減室のため。 (5)
	70室	39室 46室	173室 180室 179室 211室	7室 9室 8室 (補助職員0人)	5室 6室 (補助職員0人)	
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		令和3年3月末で1名退職の ため。(2)
	経済学部 経済数理学科			9 10 室		

(5)	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	大学全体での共用分図書
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル				
図書・設備	経済学部	70,049 [33,974]	788 [300]	73 [73]	29,937	284	0	<p>179,214 [44,851] (172,298 [44,332]) (86,127 [12,096]) (82,300 [12,091]) (83,820 [11,786]) (93,531 [10,507])</p> <p>(変更理由)</p> <p>変更理由は、「7その他全般的事項」(1)設置計画変更事項等記載(2)。</p> <p>図書：計画通り、図書を購入したため(3) 学術雑誌：電子ジャーナルに移行するため(3) 電子ジャーナル：海外の出版社による電子資料の価格高騰のため。(3) 視聴覚資料：算出方法を見直し、改めて集計したため。(3) 大学全体での共用分図書：請求記号(本学図書館の分類方法)を変更したため。(3)</p> <p>図書：複本の除籍のため。(4) 学術雑誌：契約の見直しのため。(4) 電子ジャーナル：契約の見直しのため。(4) 視聴覚資料：新規購入及び寄贈受入のため。(4) 機械・器具：図書館内設置のパソコン台数を減らしたため。パソコン台数は十分に確保しているため、このことによる支障はない。(4) 大学全体での共用分図書：新規購入及び寄贈受入のため。外国書については、複本の除籍のため減少した。(4)</p>
		(67,267 [33,361]) (66,763 [33,192]) (67,069 [33,291]) (64,589 [33,277]) (63,264 [32,428])	(788 [300]) (88 [29]) (79 [25]) (85 [31]) (64 [18])	(73 [73]) (118 [118]) (74 [74]) (56 [56])	(27,265) (39,718) (9,935) (10,086) (9,830)	(284) (252) (231) (206)	(0)	
	計	70,049 [33,974]	788 [300]	73 [73]	29,937	284	0	<p>図書：複本及び内容の陳腐化等による除籍のため。(5) 学術雑誌：契約の見直しのため。(5) 視聴覚資料：除籍のため。(5) 機械・器具：パソコン等の設置場所の見直しのため。このことによる支障はない。(5) 大学全体での共用分図書：新刊購入等による増加。外国書は複本及び内容の陳腐化等による除籍のため。(5)</p>
	(67,267 [33,361]) (66,763 [33,192]) (67,069 [33,291]) (64,589 [33,277]) (63,264 [32,428])	(788 [300]) (88 [29]) (79 [25]) (85 [31]) (64 [18])	(73 [73]) (118 [118]) (74 [74]) (56 [56])	(27,265) (39,718) (9,935) (10,086) (9,830)	(284) (252) (231) (206)	(0)		

	面積	閲覧座席数	収納可能冊数	
	(6) 図書館	11,925.03㎡	850 1032	
(7) 体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要		
	5,006.6㎡	野球場 1面、サッカー場 1面、テニスコート 1面、卓球場 1棟	ハンドボールコート 1面、アーチェリー射場 1面、弓道場 1面	

	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	届出学部全体
(8)	教員 1 人当り研究費等	1,068千円 1,017千円	1,068千円 1,017千円 1,055千円 1,046千円	図書購入費	7,372千円 5,211千円	7,372千円 5,276千円	7,372千円 5,940千円 5,146千円 3,562千円	<p>図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費（運用コストを含む）を含む。</p> <p>変更理由は、「7 その他全般的事項」（1）設置計画変更事項等に記載。（2）</p> <p>共同研究費等について、過年度実績及び次年度の研究プロジェクトの計画に基づき予算を設定しているため予算の増減が発生する。実績・計画に基づく変更のため、これによる研究環境への影響はない。（3）</p> <p>教員 1 人当り研究費等：刊行物購入費が増加傾向にあることから、当研究費も増加している。（4） 図書購入費：図書購入費は減少しているが、刊行物購入費は増加傾向にある。図書と刊行物の購入費の合計では支出額に大きな増減はなく研究・教育環境への影響はない。（4）</p>
	共同研究費等	1,305千円 1,360千円	1,305千円 1,117千円 1,122千円 1,024千円 1,379千円	設備購入費	8,209千円 26,948千円	8,209千円 20,733千円	8,209千円 21,014千円 19,974千円 7,150千円	<p>共同研究費等：過年度実績及び次年度の研究プロジェクトの計画に基づき予算を設定しているため予算の増減が発生する。（4）</p> <p>設備購入費：中期的な教育環境整備計画に基づき設備費を算出するが、詳細の設計にあたり見込額が変動するため増減が発生する。（4）</p> <p>教員 1 人当り研究費等：教員数の増加により 1 人当りの金額が減少している。（5）</p> <p>図書購入費：図書購入費は減少しているが、刊行物購入費は増加傾向にある。図書と刊行物の購入費の合計では支出額に大きな増減はなく研究・教育環境への影響はない。（5）</p> <p>共同研究費等：過年度実績及び次年度の研究プロジェクトの計画に基づき予算を設定しているため予算の増減が発生する。（5）</p> <p>設備購入費：中期的な教育環境整備計画に基づき設備費を算出するが、詳細の設計にあたり見込額が変動するため増減が発生する。（5）</p>
経費の見積り及び維持方法の概要	学生 1 人当り納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
		1,300千円	1,100千円	1,100千円	1,100千円	— 千円	— 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称		成蹊大学							平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	0	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	0	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考			
	年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度					
経済学部	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	昭和43	-	令和2年学生募集停止			
経済経営学科	4	-	-	-	学士(経済学)	-	-	-	-	-	平成16	東京都武蔵野市吉祥寺北町三丁目3番1号	令和2年学生募集停止			
経済学部	4	230	-	920	-	1.02	1.02	1.01	1.01	-	令和2	-	令和2年設置			
経済数理学科	4	80	-	320	学士(経済学)	1.04	-	1.03	-	-	令和2	同上	令和2年設置			
現代経済学科	4	150	-	600	学士(経済学)	1.01	1.01	1.01	1.01	-	令和2	同上	令和2年設置			
理工学部	4	420	-	1640	-	1.04	-	1.06	1.02	-	平成17	-				
物質生命理工学科	4	-	-	250	学士(理工学)	-	-	-	-	-	平成17	同上	令和4年学生募集停止			
情報科学科	4	-	-	300	学士(理工学)	-	-	-	-	-	平成17	同上	令和4年学生募集停止			
システムデザイン学科	4	-	-	250	学士(工学)	-	-	-	-	-	平成17	同上	令和4年学生募集停止			
理工学科	4	420	-	840	学士(理工学)	1.08	-	1.11	1.11	令和4	令和4	同上	令和4年設置			
文学部	4	420	-	1680	-	1.01	-	1.04	1.01	-	昭和40	-				
英語英米文学科	4	121	-	484	学士(文学)	1.01	-	1.01	1.00	-	昭和40	同上	令和2年度入学定員減(9人)			
日本文学科	4	84	-	336	学士(文学)	1.01	-	1.03	1.01	-	昭和40	同上	令和2年度入学定員減(6人)			
国際文化学科	4	110	-	440	学士(文学)	1.01	-	1.06	1.01	-	平成12	同上				
現代社会学科	4	105	-	420	学士(文学)	1.02	-	1.04	1.01	-	平成12	同上	令和2年度入学定員減(5人)			
法学部	4	440	-	1760	-	1.04	1.04	1.08	1.04	-	昭和43	-				
法律学科	4	280	-	1120	学士(法学)	1.05	1.05	1.08	1.05	-	昭和43	同上				
政治学科	4	160	-	640	学士(政治学)	1.02	1.02	1.06	1.01	-	昭和43	同上				
経営学部	4	290	-	1160	-	1.05	1.04	1.04	1.04	-	令和2	-	令和2年設置			
総合経営学科	4	290	-	1160	学士(経営学)	1.05	1.04	1.04	1.04	-	令和2	同上	令和2年設置			
大学全体	4	1800	-	7160		1.03	1.03	1.06	1.02	-	-	-				

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
(様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
- ・学部・学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率（控除後）」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「—」としてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和6年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
 - ・「平均入学定員超過率（控除後含む）」及び「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず赤字にしてください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<経済学部 経済数理学科>

(1) -① 担当教員表

個人情報を含むため公表しません。(P.39~P.69)

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

(別紙 EE令2-2) のとおり。

【令和3年度】

(別紙 EE令3-2) のとおり。

【令和4年度】

(別紙 EE令4-2) のとおり。

【令和5年度】

(別紙 EE令5-2) のとおり。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8 名	4 名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
6	1	1	0	8	1	6	1	2	0	9	1
(5)	(1)	(1)	(1)	(8)	(1)						
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
6	1	2	0	9	1	6	1	2	0	9	1
[0]	[0]	[1]	[0]	[1]	[0]	[0]	[0]	[1]	[0]	[1]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ 1)
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ 1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	1 名	1 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{9}{8} = \boxed{112.5} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{1}{9} = \boxed{11.11} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{1}{1} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		該当なし								
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）」の理由に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし								
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{8} = 0 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
- ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	教授	太西 雅一郎	選択	フランス語基礎A I	②	R3.3.31付け65歳で定年退職 (3)	
			選択	フランス語基礎A II	②		
			選択	フランス語演習言語と文化 I	②		
			選択	フランス語演習言語と文化 II	②		
			選択	文学への招待	②		
			選択	異文化理解トピックス (フランス語圏)	②		
			必修	基礎ゼミナール	①		
合計			後任補充状況の集計				
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
1	人	必修	1 科目	必修	1 科目	必修	0 科目
		選択	6 科目	選択	0 科目	選択	6 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	7 科目	計	1 科目	計	6 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>(3) -⑥に掲げる教員に対し、令和2年度末で定年退職となったが、退職に関して、学生への周知は特段行っていないが、すでに後任となる教員が就任し、必修である「基礎ゼミナール」を担当しているため、学生の履修等への影響はない。そのほか、全学共通科目の選択科目についても、兼任教員(他学部の専任教員)が担当し、教育上支障がない。</p>

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和元年)	完成年度前に定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織改編の将来構想について検討すること	(別紙EE令4-3) のとおり(4) (別紙EE令5-3) のとおり(5)	履行済
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和2年度)	該当なし	該当なし	
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和3年度)	該当なし	該当なし	
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和4年度)	該当なし	該当なし	

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。
 - 【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<経済学部 経済数理学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
別紙（EE令5-4）のとおり。	別紙（EE令5-4）のとおり。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

FDについては、本学部では（別紙 EE令5-5）のとおり、FD委員会を設置している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

本学部のFD委員会については、年間16回開催している。

また、委員会は、学部長、大学評議員、学科主任、教務委員長、教務副委員長の役職者等及び役職に就いていない本学部専任教員のうちから学部長が指名した若干名で構成され、概ね全ての回に全構成員が参加している。

c 委員会の審議事項等

FD委員会の審議事項は、規則において、次のように定めている。

- (1) 本学部における教育活動の改善に関する事項
- (2) 学生による授業評価の結果分析及び活用に関する事項
- (3) FD活動の点検・評価に関する事項
- (4) その他学部長が必要と認めた事項

この定めに基づき、令和4年度のFD委員会では、次の事項についての審議等を行った。

- ・FD研修会の年間計画の策定
- ・FD研修会の内容策定、運営、報告
- ・FD活動報告書
- ・FD委員会の開催日時
- ・FD活動方針関係
- ・授業研究会
- ・ティーチングアワード（教員顕彰）候補者選定、推薦
- ・授業評価アンケート関係（実施、結果の分析、セルフレビュー）
- ・シラバス関係（取りまとめ、第三者チェック）

② 実施状況

a 実施内容

上記のFD委員会で内容を策定したFD研修会について、令和4年度は、以下3回のFD研修会を実施した。

- ①「基礎ゼミナール」をテーマとした研修会
 - ②「対面講義のオンデマンド化に関する情報共有」をテーマとした研修会
 - ③「2017年から2021年にかけての本学卒業生の産業別就職状況の動向」をテーマとした研修会
- その他、授業研究会（財城真寿美教授の担当科目「GISゼミナール」）も実施した。

b 実施方法

FD研修会：オンライン形式

授業研究会：対面形式

c 開催状況（教員の参加状況含む）

FD研修会：

- ①令和4年4月7日に実施した第1回研修会には、25名が参加した。
- ②令和4年6月23日に実施した第2回研修会には、25名が参加した。
- ③令和4年7月14日に実施した第3回研修会には、25名が参加した。

授業研究会：令和4年12月9日の2限に実施した研究会には、5名が参加した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

FD研修：各回とも構成員の全員である25名が参加した。第1回研修会においては、研究倫理教育の重要性や複数クラス合同でのイベント実施が提案され、前者については学部独自作成の教材の活用、後者については7月12日の合同ポスター発表会という形で授業改善に結びついた。第2回研修会においては、対面講義のアーカイブ公開の手法が共有され、参加者の約半数が「有用だと思ったので、今後実施しようと思った・するかもしれない」と回答した。第3回研修会においては、本学卒業生の産業別就職状況が共有され、業界情報に対する学生ニーズを把握する一助となった。

授業研究会：当該授業は反転授業やアクティブラーニングを実践されている授業であり、参加者がそれらのノウハウを共有し、さらなる改善策について議論する有意義な機会となった。

② 実施状況

【SD】

a 実施内容

成蹊大学SD (Staff Development) 実施方針を定め (別紙 EE令5-6)、これに基づき、毎年度、実施計画を策定し、実施している。令和4年度は、全5回実施した。

研修テーマは、大学の教育研究活動及び教学マネジメントに関し、より適切かつ効果的な運営ができるよう、職員が必要な知識及び技能を習得するとともに、その能力及び資質の向上をめざすという目的 (方針) を達成するため、以下のいずれかに該当するものとする。

- ① 3つのポリシーに基づく本学の自己点検・評価と内部質保証に関するもの
- ② 教学マネジメントに関わる専門的職員の育成に関するもの
- ③ 大学改革に関するもの
- ④ 学生の厚生補導に関するもの
- ⑤ 業務領域の知見の獲得を目的とするもの (総務、財務、人事、企画、教務、研究等)
- ⑥ その他 (本学独自の業務に関するもの、時流に対応したもの等)

b 実施方法

令和4年度は、オンライン形式 (Zoomを使用) 及びオンデマンド動画の配信にて実施した。

c 開催状況 (教員の参加状況含む)

令和4年度に開催したSDは、次のとおりである。

なお、参加者数については、教員・職員分け隔てなく参加募集をしていることもあり、分けての集計は行っていない。

第1回「成蹊大学の今後の運営方針について」参加数：139名

第2回「学部設置等における質保証システムとしての設置計画審査と履行状況等報告」参加数：39名

第3回「大学を取り巻く教育行政等の最新動向について」参加数：42名

第4回「『進学ブランド力調査』と『高校生価値意識調査』からみる最新の進学動向について」参加数：48名

第5回「学生と教職員の性の多様性—大学として何ができるか—」参加数：50名

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

大学全体として、前期末及び後期末に実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果の集計後、学期ごとに大学ホームページにて公開している。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

経済学部経済数理学科の設置の趣旨・目的については、設置4年目においては、特に次の3点の理由から、十分達成しているものと思われる。

1 定員充足の状況

開設4年目となった2023年度入試においては、定員80名のところ、一般入試、AO入試、各種推薦入試を通しての志願者数が1,096名（定員に対する志願者数：13.7倍）、受験者数が1,047名、合格者数が286名（実質倍率はおよそ3.7倍）となった。

このことは、設置にあたり入学志願者の動向等の分析が適切になされた結果であるといえる。

しかしながら、例年に比して一般入試合格者の入学手続き率が著しく高く、結果として定員の1.15倍にあたる92名の新入生を迎えることとなった（2023年度新入生の学部全体では1.06倍の入学定員超過率）。

2 教員組織の変更

令和4年度報告以後の1年間に退職、新規採用、昇進はなかった。令和5年4月に1名の新規採用1名を予定していたが、適切な人材からの応募がなく採用見送りとなった。その結果、経済学部経済数理学科の専任教員は昨年度と同様、教授6名、准教授1名、講師2名の計9名である（設置計画時8名）。

なお、届出時の附帯事項については、「6 附帯事項等に対する履行状況等」に記載したとおりである。

3 学部運営等

設置後の3年間に引き続き第4年度も学生募集という点では何ら問題なく推移している。一方で2020年4月の設置と同時に襲ったコロナ禍の影響を受けて設置後の2年間は、本学科の教学運営も大きな影響を受けた。初年度には、他大学に先駆けて4月の早い時期にオンライン授業の実施を決定し、当初予定の学年暦通りの週数で授業を運営し、本学部の設置の趣旨・目的に掲げた教育から逸れることがなく、学科を始動させることができた。第2年度の令和3年度においては、1年次生、2年次生ともに演習科目を中心に対面授業を再開し、緊急事態宣言（4月下旬より5月末まで）の解除後には、対面授業の実施科目を拡大させた。第3年度の令和4年度以降は、履修者数概ね150名を超える大規模科目を除けば、通常通りの授業運営となっている。令和5年度については、本学科で開講する授業のうちオンラインで実施する授業は前後期あわせて4科目のみである。

設置4年目を迎え、4年次生向けの「卒業研究」も開講されており、本学科最初の卒業生を送り出すべく、教員が一致団結して努力を続けている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

大学全体の自己点検・評価報告書として、令和6年度はじめ（認証評価結果受領後）に公表予定（令和4年度に報告書を作成し、令和5年度に公益財団法人大学基準協会での認証評価を受ける予定）。

b 公表方法

大学ホームページ上に公開予定（令和6年4月を予定）

③ 認証評価を受ける計画

令和5年度に公益財団法人大学基準協会による認証評価を受ける予定である。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ; その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

学校コード F113310103732
注3

設置年度 令和 2年度
計画の区分： 学部の設置
注1

届出

注2
成蹊大学 経済学部

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人 成蹊学園
令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 学長室総合企画課

職名・氏名

電話番号 0422-37-3531

(夜間) 0422-37-3531

e-mail kikaku@jim.seikei.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

経済学部

＜現代経済学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	37
4. 既設大学等の状況	41
5. 教員組織の状況	42
6. 附帯事項等に対する履行状況等	81
7. その他全般的事項	82

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 成蹊学園

(2) 大学名

成蹊大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒180-8633

東京都武蔵野市吉祥寺北町三丁目3番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ツクダ カズオ) 佃 和夫 (平成19年3月就任)	(コバヤシ ケン) 小林 健 (令和3年4月就任)	任期満了のため交代 令和3年4月1日(3)
学長	(キタガワ ヒロシ) 北川 浩 (平成28年4月就任)	(モリ ユウイチ) 森 雄一 (令和4年4月就任)	任期満了のため交代 令和4年4月1日(4)
学部長	(オダ ヒロノブ) 小田 宏信 (令和2年4月就任)		
学科長等	(ハサモト カヨ) 挾本 佳代 (令和2年4月就任)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)

令和5年度に報告する内容 → (5)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
経済学部 現代経済学科 学士(経済学)	経済学関係	4年	150人	0人 2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	600人	-	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に入力してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	150 () []	人 () []	150 () []	人 () []	150 () []	人 () []	人 () []	150 () []	1.01倍	1.01倍	1.01倍	1.01倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	3271 () []	() []	2466 () []	() []	2246 () []	() []	2400 () []	() []					
受験者数	() []	() []	() []	() []	3037 () []	() []	2357 () []	() []	2118 () []	() []	2262 () []	() []					
合格者数	() []	() []	() []	() []	437 () []	() []	519 () []	() []	556 () []	() []	489 () []	() []					
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	146 () []	() []	151 () []	() []	161 () []	() []	154 () []	() []					
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	0.97	-	1.00	-	1.07	-	1.02	-					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
 ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
 また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
 なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。
 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
 ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	146 [—] (—)	— [—] (—)	151 [—] (—)	— [—] (—)	161 [—] (—)	— [—] (—)	157 [—] (—)	— [—] (—)	
2年次			— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	145 [—] (—)	— [—] (—)	156 [—] (6)	— [—] (—)	164 [—] (6)	— [—] (—)	
3年次					— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	138 [—] (—)	— [—] (—)	152 [—] (3)	— [—] (—)	
4年次							— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	135 [—] (—)	— [—] (—)	
計	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	146 [—] (—)	— [—] (—)	296 [—] (—)	— [—] (—)	455 [—] (7)	— [—] (—)	608 [—] (12)	— [—] (—)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ **編入学生や転入学生も含めて**記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。**また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	146 人	0 人	平成30年度	－ 人	－ 人	
			令和元年度	－ 人	－ 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	296 人	1 人	平成30年度	－ 人	－ 人	
			令和元年度	－ 人	－ 人	
			令和2年度	1 人	0 人	他大学進学(1名)
			令和3年度	0 人	0 人	
令和4年度	457 人	0 人	平成30年度	－ 人	－ 人	
			令和元年度	－ 人	－ 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
令和5年度	608 人	3 人	平成30年度	－ 人	－ 人	
			令和元年度	－ 人	－ 人	
			令和2年度	1 人	0 人	その他(1名)
			令和3年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(1名)
			令和4年度	1 人	0 人	その他(1名)
			令和5年度	0 人	0 人	
合 計		4 人		4 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{146} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{296} = \boxed{0.33} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{457} = \boxed{0} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{608} = \boxed{0.49} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<経済学部 現代経済学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通科目・外国語・英語科目	College English (Listening & Speaking) I	1前	1								4
	College English (Reading & Writing) I	1前	1								6
	College English (Listening&Speaking)II	1後	1								4
	College English (Reading & Writing) II	1後	1								6
	Intensive English I	1前	1								2
	Intensive English II	1後	1								2
	College English (Integrated Skills) I	2前	1								5
	College English (Integrated Skills) II	2後	1								5
	TOEFL Preparation Introduction	1前	1								1
	TOEFL Preparation Intermediate	1後	1								1
	TOEIC Preparation Introduction	1前	1								1
	TOEIC Preparation Intermediate	1後	1								1
	IELTS Preparation Introduction	1前	1								1
	IELTS Preparation Intermediate	1後	1								1
	基礎からのコミュニケーション英文法	1前	2								1
	自分でデザインする英語学習	1前	2								1
	英語発音トレーニング	1前	2								1
	英語読解トレーニング	1前	2								1
	Presentation Skills Basic	1前	2								1
	Discussion Skills Basic	1前	2								1
	Writing Skills (Paragraph)	1前	2								1
	Presentation Skills Intermediate	1後	2								1
	Discussion Skills Intermediate	1後	2								1
	Writing Skills (Essay)	1後	2								1
	多読で学ぶ英語と文化	2前	2								1
	映画で学ぶ英語と文化	2前	2								1
	ドラマで学ぶ英語と文化	2前	2								1
	歌で学ぶ英語と文化	2前	2								1
	メディアで学ぶ英語と文化	2前	2								1
	キャリアのための英語と文化	2前	2								1
	TOEFL Preparation Advanced I	1前	1								1
	TOEFL Preparation Advanced II	1後	1								1
	IELTS Preparation Advanced I	1前	1								1
	IELTS Preparation Advanced II	1後	1								1
	TOEIC Preparation Advanced	1前	1								1
	Media English	2前	2								1
	Academic Listening	2前後	2								1
	Gross Cultural Communication Skills	2前後	2								2
	Discussion & Presentation	2後	2								1
	English for the Workplace	2後	2								1
	Essay Writing	2前後	2								2
	Intensive Reading	2前後	2								2
	World Englishes	2後	2								1
小計(43科目)	—	4	63	0	0	0	0	0	0	23	
全学共通科目・外国語・初修外国語科目	ドイツ語基礎A I	1前	1							1	
	ドイツ語基礎B I	1前	1							1	
	フランス語基礎A I	1前	1							1	
	フランス語基礎B I	1前	1							1	
	スペイン語基礎A I	1前	1							2	
	スペイン語基礎B I	1前	1							2	
	中国語基礎A I	1前	1							3	
	中国語基礎B I	1前	1							3	
	韓国語基礎A I	1前	1							1	
	韓国語基礎B I	1前	1							1	
	ドイツ語基礎A II	1後	1							1	
	ドイツ語基礎B II	1後	1							1	
	フランス語基礎A II	1後	1							1	
フランス語基礎B II	1後	1							1		

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通科目・外国語・英語科目	College English (Listening & Speaking) I	1前	1								7
	College English (Reading & Writing) I	1前	1								7
	College English (Listening & Speaking) II	1後	1								7
	College English (Reading & Writing) II	1後	1								7
	Intensive English I	1前	1								2
	Intensive English II	1後	1								2
	College English (Integrated Skills) I	2前	1								7
	College English (Integrated Skills) II	2後	1								7
	TOEFL Preparation Introduction	1前後	1								2
	TOEFL Preparation Intermediate	1前後	1								3
	TOEIC Preparation Introduction	1前後	1								3
	TOEIC Preparation Intermediate	1前後	1								3
	IELTS Preparation Introduction	1前後	1								2
	IELTS Preparation Intermediate	1前後	1								2
	基礎からのコミュニケーション英文法	1後	2								1
	自分でデザインする英語学習	1前	2								1
	英語発音トレーニング	1前後	2								1
	英語読解トレーニング	1前後	2								1
	Presentation Skills Basic	1後	2								1
	Discussion Skills Basic	1前	2								1
	Writing Skills (Paragraph)	1前後	2								2
	Presentation Skills Intermediate	1前後	2								2
	Discussion Skills Intermediate	1前後	2								2
	Writing Skills (Essay)	1前後	2								2
	多読で学ぶ英語と文化 I (名称変更)	2前後	2								3
	多読で学ぶ英語と文化 II	2後	2								1
	映画で学ぶ英語と文化	2前後	2								5
	ドラマで学ぶ英語と文化	2前後	2								4
	歌で学ぶ英語と文化	2前後	2								3
	メディアで学ぶ英語と文化	2前後	2								3
	キャリアのための英語と文化	2前後	2								3
	TOEFL Preparation Advanced I	1前	1						1		0
	TOEFL Preparation Advanced II	1後	1						1		0
	IELTS Preparation Advanced I	1前	1								1
	IELTS Preparation Advanced II	1後	1								1
	TOEIC Preparation Advanced	1前後	1								1
	Media English	2前後	2								2
	Academic Listening	2前後	2								1
	Gross Cultural Communication Skills	2前後	2								1
	Discussion & Presentation	2後	2								1
	English for the Workplace	2後	2								1
	Essay Writing	2前後	2								2
	Intensive Reading	2前後	2								2
	World Englishes	2後	2								1
小計(44科目)	—	4	65	0	0	1	0	0	0	43	
全学共通科目・外国語・初修外国語科目	ドイツ語基礎A I	1前	1							1	
	ドイツ語基礎B I	1前	1							1	
	フランス語基礎A I	1前	1							1	
	フランス語基礎B I	1前	1							1	
	スペイン語基礎A I	1前	1							2	
	スペイン語基礎B I	1前	1							2	
	中国語基礎A I	1前	1							4	
	中国語基礎B I	1前	1							4	
	韓国語基礎A I	1前	1							1	
	韓国語基礎B I	1前	1							2	
	ドイツ語基礎A II	1後	1							1	
	ドイツ語基礎B II	1後	1							1	
	フランス語基礎A II	1後	1							1	
フランス語基礎B II	1後	1							1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通科目・持続社会探究・国際理解	戦後の日本と世界	2前後	2								1
	近現代のアジアA	2前	2								1
	近現代のアジアB	2後	2								1
	近現代の欧米A	2前	2								1
	近現代の欧米B	2後	2								1
	中東地域史	2前	2								1
	現代の国際政治	2前	2								1
	グローバル経済論	2前	2			1					
	国際文化交流論	2後	2								1
	異文化理解トピックス(ドイツ語圏)	2後	2								1
	異文化理解トピックス(フランス語圏)	2後	2								1
	異文化理解トピックス(スペイン語圏)	2後	2								1
	異文化理解トピックス(中国語圏)	2後	2								1
	異文化理解トピックス(韓国語圏)	2後	2								1
	異文化理解トピックス(イスラーム世界)	2後	2								1
小計(15科目)	—	0	30	0	1	0	0	0	0	0	12
全学共通科目・持続社会探究・人権・共生	裁判と社会	2後	2								1
	生命倫理と法	2後	2								1
	地域福祉論	2前	2								1
	人権とジェンダー	2前	2								1
	こころの健康と臨床	2前	2								1
	老人福祉論	2前	2								1
	福祉社会に生きる	2後	2								1
	特別支援教育概論	2前	2								1
	共生社会トピックス(アートと社会)	2前	2								1
	共生社会トピックス(日本女性史)	2後	2								1
小計(10科目)	—	0	20	0	0	0	0	0	0	0	9
全学共通科目・持続社会探究・実践	成蹊を知る	1後	2								1
	情報保障とボランティア	1前	2								1
	野外自然教育論	1前	2								1
	地元学実践演習	1後	2								1
	武蔵野地域研究	1後	2								1
	武蔵野市寄附講座	1後	2								1
	大学生生活と相互理解	1後	2								2
	成蹊グローバルセミナーA	1前	2								1
	成蹊グローバルセミナーB	1後	2								1
	武蔵野地域連携セミナー	1後	2								1
	Global Studies Seminar I (Academic Study Abroad Preparation)	1前	2								1
	Global Studies Seminar II (Global Citizenship)	1後	2								1
	Global Studies Seminar III (Japanese Culture)	2前	2								1
小計(13科目)	—	0	26	0	0	0	0	0	0	0	13
全学共通科目 小計(265科目)		4	481	0	4	1	0	0	0	0	154

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
												修
全学共通科目・持続社会探究・国際理解	戦後の日本と世界	2後	2									2
	近現代のアジアA	2前	2									1
	近現代のアジアB	2後	2									1
	近現代の欧米A	2前	2									2
	近現代の欧米B	2後	2									2
	中東地域史	2後	2									1
	現代の国際政治	2前	2									1
	グローバル経済論	2後	2									1
	国際文化交流論	2後	2									1
	異文化理解トピックス(ドイツ語圏)	2前	2					1				1
	異文化理解トピックス(フランス語圏)	2前	2									1
	異文化理解トピックス(スペイン語圏)	2後	2									1
	異文化理解トピックス(中国語圏)	2後	2									1
	異文化理解トピックス(韓国語圏)	2前	2									1
	異文化理解トピックス(イスラーム世界)	2前	2									1
	異文化理解トピックス(ドイツ語圏で学ぶ世界)	2前	2									1
	異文化理解トピックス(スペイン語圏で学ぶ世界)	2前	2									1
	異文化理解トピックス(韓国語圏で学ぶ世界)	2後	2									1
小計(18科目)	—	0	36	0	1	0	0	0	0	0	0	17
全学共通科目・持続社会探究・人権・共生	裁判と社会	2後	2									1
	生命倫理と法(未開講)	休講	2									0
	地域福祉論	2前	2									1
	人権とジェンダー	2後	2									1
	こころの健康と臨床	2前後	2									2
	高齢者福祉論(名称変更)	2前	2									1
	福祉社会に生きる	2後	2									1
	特別支援教育概論	2前後	2									1
	共生社会トピックス(アートと社会)	2前	2									1
	共生社会トピックス(日本女性史)	2後	2									1
	共生社会トピックス(英語学領域: English 4年生必修)	2後	2									2
	共生社会トピックス(イノベーションの歴史と現代)	2前	2									1
小計(12科目)	—	0	24	0	0	0	0	0	0	0	0	10
全学共通科目・実践	成蹊を知る	1後	2									1
	情報保障とボランティア	1前	2									4
	野外自然教育論	1後	2									1
	地元学実践演習	1後	2									1
	武蔵野地域研究	1前	2									1
	武蔵野市寄附講座	1後	2									1
	大学生生活と相互理解	1前	2									2
成蹊グローバルセミナーA	1前	2									1	
成蹊グローバルセミナーB	1後	2									1	
武蔵野地域連携セミナー	1前後	2									3	
Global Studies Seminar I (Academic Study Abroad Preparation)	1前	2									1	
Global Studies Seminar II (Global Citizenship)	1後	2									2	
Global Studies Seminar III (Japanese Culture)	2前	2									2	
小計(13科目)	—	0	26	0	0	0	0	0	0	0	0	20
全学共通科目 小計(277科目)		4	505	0	2	1	1	0	0	0	0	225

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
EAGLE国際教養科目・専門科目・応用発展科目	International Business	2前	2								1
	Japanese Economy	2前	2								1
	Current Topics in Business and Economics	2前	2								1
	International Relations	2後	2								1
	Regional Studies	2前	2								1
	Current Topics in Global Issues	2前	2								1
	Japanese Contemporary Issues	2後	2								1
	Japanese Traditional Culture	2後	2								1
	Current Topics in World Affairs	2前	2								1
	小計(9科目)	—	0	18	0	0	0	0	0	0	0
専門科目・広域基礎科目	日本史概論Ⅰ	2前	2								1
	日本史概論Ⅱ	2後	2								1
	世界史概論Ⅰ	2前	2								1
	世界史概論Ⅱ	2後	2								1
	人文地理学	2前	2			1					
	自然地理学	2後	2				1				
	地誌学	2後	2								1
	現代の政治学	2後	2								1
小計(8科目)	—	0	16	0	1	1	0	0	0	0	4
教職課程の大学が独自に設ける科目	教職特論演習Ⅰ	3後		2							1
	教職特論演習Ⅱ	4前		2							1
	学校経営と学校図書館	2前		2							1
	学校図書館メディアの構成	2後		2							1
	学習指導と学校図書館	2前		2							1
	読書と豊かな人間性	2後		2							1
	情報メディアの活用	2後		2							1
小計(7科目)	—	0	0	14	0	0	0	0	0	0	4
教職の教科及び教職に関する科目	教職論	1前		2							1
	教育課程論	2前		2							1
	道徳教育の指導法	3前		2							2
	総合的な学習の時間の指導法	3前		2							1
	特別活動の指導法	3前		2							1
	教育方法論	2前		2							4
	生徒・進路指導論	1後		2							1
	教育相談	2前		2							2
	教育実習論	3後		1							3
	教育実習(中・高)	4通		5							3
	教育実習(高)	4通		3							3
	教職実践演習(中・高)	4後		2							4
	社会科教育法A	3前		2							1
	社会科教育法B	3前		2							1
社会科・地理歴史科教育法	2後		2							1	
社会科・公民科教育法	2後		2							1	
地理歴史科教育法	3後		2							1	
公民科教育法	3後		2							1	
小計(18科目)	—	0	0	39	0	0	0	0	0	0	8
専門科目 小計(138科目)	—	10	220	53	8	1	0	1	0	0	47
合計(403科目)	—	14	701	53	8	1	0	1	0	0	191

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
EAGLE国際教養科目・専門科目・応用発展科目	International Business	2前	2								1
	Japanese Economy	2後	2								1
	Current Topics in Business and Economics	2前	2								1
	International Relations	2前	2								1
	Regional Studies	2前後	2								3
	Current Topics in Global Issues	2後	2								2
	Japanese Contemporary Issues	2前	2								1
	Japanese Traditional Culture	2後	2								1
	Current Topics in World Affairs	2前後	2								4
	小計(9科目)	—	0	18	0	0	0	0	0	0	0
専門科目・広域基礎科目	日本史概論Ⅰ	2前	2								1
	日本史概論Ⅱ	2後	2								1
	世界史概論Ⅰ	2前	2								1
	世界史概論Ⅱ	2後	2								1
	人文地理学	2前	2				1				
	自然地理学	2後	2				1	0			
	地誌学	2後	2								1
	現代の政治学	2後	2								1
小計(8科目)	—	0	16	0	2	0	0	0	0	0	4
教職課程の大学が独自に設ける科目	教職特論演習Ⅰ	3後		2							1
	教職特論演習Ⅱ	4前		2							1
	学校経営と学校図書館	2前		2							1
	学校図書館メディアの構成	2前		2							1
	学習指導と学校図書館	2後		2							1
	読書と豊かな人間性	2後		2							1
	情報メディアの活用	2後		2							1
小計(7科目)	—	0	0	14	0	0	0	0	0	0	5
教職の教科及び教職に関する科目	教職論	1後		2							1
	教育課程論	2後		2							1
	道徳教育の指導法	3前後		2							2
	総合的な学習の時間の指導法	3前後		2							1
	特別活動の指導法	3後		2							1
	教育の方法と技術(名称変更)	2前後		2							3
	ICT活用の理論と方法	2前		1							1
	生徒・進路指導論(未開講)	休講		2							0
	生徒指導論	1後		2							1
	教育相談	2前後		2							2
	進路指導論	1前後		2							1
	教育実習論	3後		1							3
	教育実習(中・高)	4通		5							3
	教育実習(高)	4通		3							3
教職実践演習(中・高)	4後		2							4	
社会科教育法A	3前		2							1	
社会科教育法B	3前		2							1	
社会科・地理歴史科教育法	2後		2							1	
社会科・公民科教育法	2後		2							1	
地理歴史科教育法	3後		2							1	
公民科教育法	3後		2							1	
小計(21科目)	—	0	0	44	0	0	0	0	0	0	13
専門科目 小計(151科目)	—	10	240	58	8	1	2	1	0	0	71
合計(428科目)	—	14	745	58	8	1	2	1	0	0	276

卒業要件及び履修方法
<p>4年以上在学し、かつ、次のすべての要件を満たした上で、124単位以上を修得すること。</p> <p>(1) 全学共通科目にあっては、次の要件を満たした上で28単位以上修得すること。</p> <p>①「外国語(英語科目、初修外国語科目)」「技能(日本語力科目、キャリア教育科目、情報基盤科目、健康・スポーツ科目)」から16単位以上(このうち英語科目を必修4単位を含め6単位以上)</p> <p>②「教養基礎」「持続社会探究」から8単位以上</p> <p>(2) 現代経済学科専門科目にあっては、次の要件を満たした上で76単位以上修得すること。</p> <p>①「ゼミナール科目」:必修科目10単位</p> <p>②「サステナビリティ研究科目」</p> <p>地域コミュニティ経済科目:6単位以上</p> <p>グローバル経済科目:6単位以上</p> <p>③「基盤科目」</p> <p>基盤Ⅰから12単位以上および基盤Ⅱから6単位以上含み、基盤ⅠとⅡの合計が20単位以上</p> <p>④「総合科目」:制度・歴史から4単位以上を含み、6単位以上</p> <p>⑤「応用発展科目」</p> <p>企業経済科目、金融経済科目、地域・環境科目、公共政策科目から各4単位以上を含み、26単位以上</p> <p>(3) 卒業に必要な単位124単位のうち、(1)(2)から規定単位数を差し引いた残り20単位については、(1)(2)において規定単位数以上を修得した科目の単位を合計する。</p> <p>(履修科目の登録の上限:40単位(年間))</p>

卒業要件及び履修方法
<p>4年以上在学し、かつ、次のすべての要件を満たした上で、124単位以上を修得すること。</p> <p>(1) 全学共通科目にあっては、次の要件を満たした上で28単位以上修得すること。</p> <p>①「外国語(英語科目、初修外国語科目)」「技能(日本語力科目、キャリア教育科目、情報基盤科目、健康・スポーツ科目)」から16単位以上(このうち英語科目を必修4単位を含め6単位以上)</p> <p>②「教養基礎」「持続社会探究」から8単位以上</p> <p>(2) 現代経済学科専門科目にあっては、次の要件を満たした上で76単位以上修得すること。</p> <p>①「ゼミナール科目」:必修科目10単位</p> <p>②「サステナビリティ研究科目」</p> <p>地域コミュニティ経済科目:6単位以上</p> <p>グローバル経済科目:6単位以上</p> <p>③「基盤科目」</p> <p>基盤Ⅰから12単位以上および基盤Ⅱから6単位以上含み、基盤ⅠとⅡの合計が20単位以上</p> <p>④「総合科目」:制度・歴史から4単位以上を含み、6単位以上</p> <p>⑤「応用発展科目」</p> <p>企業経済科目、金融経済科目、地域・環境科目、公共政策科目から各4単位以上を含み、26単位以上</p> <p>(3) 卒業に必要な単位124単位のうち、(1)(2)から規定単位数を差し引いた残り20単位については、(1)(2)において規定単位数以上を修得した科目の単位を合計する。</p> <p>(履修科目の登録の上限:40単位(年間))</p>

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通科目・外国語・英語科目	College English (Listening & Speaking) I	1前	1								7
	College English (Reading & Writing) I	1前	1								6
	College English (Listening&Speaking)II	1後	1								7
	College English (Reading & Writing) II	1後	1								6
	Intensive English I	1前	1								2
	Intensive English II	1後	1								2
	College English (Integrated Skills) I	2前	1								7
	College English (Integrated Skills) II	2後	1								7
	TOEFL Preparation Introduction	1前後	1								1
	TOEFL Preparation Intermediate	1前後	1								2
	TOEIC Preparation Introduction	1前後	1								3
	TOEIC Preparation Intermediate	1前後	1								4
	IELTS Preparation Introduction	1前後	1								2
	IELTS Preparation Intermediate	1前後	1								2
	基礎からのコミュニケーション英文法	1前後	2								1
	自分でデザインする英語学習	1前	2								1
	英語発音トレーニング	1前後	2								1
	英語読解トレーニング	1前後	2								2
	Presentation Skills Basic	1前後	2								2
	Discussion Skills Basic	1前後	2								2
	Writing Skills (Paragraph)	1後	2								1
	Presentation Skills Intermediate	1後	2								1
	Discussion Skills Intermediate	1前	2								1
	Writing Skills (Essay)	1後	2								1
	多読で学ぶ英語と文化 I (名称変更)	2前後	2								4
	多読で学ぶ英語と文化 II	2後	2								1
	映画で学ぶ英語と文化	2前後	2				1				4
	ドラマで学ぶ英語と文化	2前	2								3
	歌で学ぶ英語と文化	2前後	2								3
	メディアで学ぶ英語と文化	2前後	2								3
	キャリアのための英語と文化	2前後	2								2
	TOEFL Preparation Advanced I	1前	1				1				0
	TOEFL Preparation Advanced II	1後	1				1				0
	IELTS Preparation Advanced I	1前	1								1
	IELTS Preparation Advanced II	1後	1								1
	TOEIC Preparation Advanced	1前後	1								2
	Media English	2前後	2								2
	Academic Listening	2前後	2								1
	Cross Cultural Communication Skills (名称変更)	休講	2								0
	Discussion & Presentation	2後	2								1
English for the Workplace	2前	2								1	
Essay Writing	2後	2								1	
Intensive Reading	2前	2								1	
World Englishes	2後	2								1	
小計(44科目)	—	4	65	0	0	1	0	0	0	41	
全学共通科目・外国語・初修外国語科目	ドイツ語基礎A I	1前	1								1
	ドイツ語基礎B I	1前	1								1
	フランス語基礎A I	1前	1								1
	フランス語基礎B I	1前	1								1
	スペイン語基礎A I	1前	1								3
	スペイン語基礎B I	1前	1								3
	中国語基礎A I	1前	1								3
	中国語基礎B I	1前	1								4
	韓国語基礎A I	1前	1								1
	韓国語基礎B I	1前	1								1
	ドイツ語基礎A II	1後	1								1
	ドイツ語基礎B II	1後	1								1
	フランス語基礎A II	1後	1								1
	フランス語基礎B II	1後	1								1
	スペイン語基礎A II	1後	1								3
	スペイン語基礎B II	1後	1								3
中国語基礎A II	1後	1								3	
中国語基礎B II	1後	1								4	
韓国語基礎A II	1後	1								1	
韓国語基礎B II	1後	1								1	

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通科目・外国語・英語科目	College English (Listening & Speaking) I	1前	1								7
	College English (Reading & Writing) I	1前	1								6
	College English (Listening & Speaking) II	1後	1								7
	College English (Reading & Writing) II	1後	1								6
	Intensive English I	1前	1								2
	Intensive English II	1後	1								2
	College English (Integrated Skills) I	2前	1								7
	College English (Integrated Skills) II	2後	1								7
	TOEFL Preparation Introduction	1前後	1								3
	TOEFL Preparation Intermediate	1前後	1								2
	TOEIC Preparation Introduction	1前後	1								4
	TOEIC Preparation Intermediate	1前後	1								3
	IELTS Preparation Introduction	1前後	1								2
	IELTS Preparation Intermediate	1前後	1								2
	基礎からのコミュニケーション英文法	1前後	2								2
	自分でデザインする英語学習	1前後	2								1
	英語発音トレーニング	1前後	2								1
	英語読解トレーニング	1前	2								1
	Presentation Skills Basic	1前後	2								1
	Discussion Skills Basic	1前後	2								2
	Writing Skills (Paragraph)	1前後	2								2
	Presentation Skills Intermediate	1後	2								1
	Discussion Skills Intermediate	1後	2								1
	Writing Skills (Essay)	1後	2								1
	多読で学ぶ英語と文化 I (名称変更)	2前後	2								4
	多読で学ぶ英語と文化 II	2前後	2								1
	映画で学ぶ英語と文化	2前後	2				1				4
	ドラマで学ぶ英語と文化	2前	2								4
	歌で学ぶ英語と文化	2前後	2								3
	メディアで学ぶ英語と文化	2前後	2								3
	キャリアのための英語と文化	2前後	2								3
	TOEFL Preparation Advanced I	1前	1					1			0
	TOEFL Preparation Advanced II	1後	1					1			0
	IELTS Preparation Advanced I	1前	1								1
	IELTS Preparation Advanced II	1後	1								1
	TOEIC Preparation Advanced	1後	1								1
	Media English	2前後	2								2
	Academic Listening	2前後	2								1
	Cross Cultural Communication Skills	2前後	2								2
	Discussion & Presentation	2後	2								1
English for the Workplace	2前	2								1	
Essay Writing	2後	2								1	
Intensive Reading	2前後	2								2	
World Englishes	2後	2								1	
小計(44科目)	—	4	65	0	0	1	0	0	0	43	
全学共通科目・外国語・初修外国語科目	ドイツ語基礎A I	1前	1								1
	ドイツ語基礎B I	1前	1								1
	フランス語基礎A I	1前	1								1
	フランス語基礎B I	1前	1								1
	スペイン語基礎A I	1前	1								3
	スペイン語基礎B I	1前	1								2
	中国語基礎A I	1前	1								3
	中国語基礎B I	1前	1								4
	韓国語基礎A I	1前	1								1
	韓国語基礎B I	1前	1								1
	ドイツ語基礎A II	1後	1								1
	ドイツ語基礎B II	1後	1								1
	フランス語基礎A II	1後	1								1
	フランス語基礎B II	1後	1								1
	スペイン語基礎A II	1後	1								3
	スペイン語基礎B II	1後	1								3
中国語基礎A II	1後	1								3	
中国語基礎B II	1後	1								4	
韓国語基礎A II	1後	1								1	
韓国語基礎B II	1後	1								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助	
全学共通科目・持続社会探究・実践	成蹊を知る	1後		2							1
	情報保障とボランティア	1前		2							4
	野外自然教育論	1後		2							1
	地元学実践演習	1後		2							1
	武蔵野地域研究	1後		2							1
	武蔵野市寄附講座	1後		2							1
	大学生活と相互理解	1後		2							2
	成蹊グローバルセミナーA	1前		2							1
	成蹊グローバルセミナーB	1後		2							1
	武蔵野地域連携セミナー	1前後		2							3
	Global Studies Seminar I (Academic Study Abroad Presentation)	1前		2							1
Global Studies Seminar II (Global Citizenship)	1後		2							2	
Global Studies Seminar III (Japanese Culture)	2前		2							2	
小計(13科目)	—	0	26	0	0	0	0	0	0	0	19
全学共通科目 小計(272科目)		4	495	0	3	1	0	1	0	0	221

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助	
全学共通科目・持続社会探究・実践	成蹊を知る	1後		2							1
	情報保障とボランティア	1前		2							4
	野外自然教育論	1後		2							1
	地元学実践演習	1後		2							1
	武蔵野地域研究	1後		2							1
	武蔵野市寄附講座	1後		2							1
	大学生活と相互理解	1後		2							2
	成蹊グローバルセミナーA	1前		2							1
	成蹊グローバルセミナーB	1後		2							1
	武蔵野地域連携セミナー	1前後		2							3
	Global Studies Seminar I (Academic Study Abroad Presentation)	1前		2							1
Global Studies Seminar II (Global Citizenship)	1後		2							3	
Global Studies Seminar III (Japanese Culture)	2前		2							2	
小計(13科目)	—	0	26	0	0	0	0	0	0	0	21
全学共通科目 小計(272科目)		4	495	0	5	1	0	0	0	0	217

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目・応用発展科目	財政学A	2前		2							1
	財政学B	2前		2							1
	公共経済学	2後		2							1
	教育経済学	2後		2				1			0
	社会保障論A	2前		2				1			0
	社会保障論B	2後		2				1			0
	医療経済学	2前		2				1			0
	ベーシック民法	2前		2		1					
	公共政策特殊講義	2前		2							1
	政策課題演習	3前		2		1					
小計(10科目)	—	0	20	0	1	0	1	0	0	0	3
EAGLE国際教養科目・専門科目・応用発展科目	International Business	2前		2							1
	Japanese Economy	2前		2							1
	Current Topics in Business and Economics	2後		2							1
	International Relations	2前		2							1
	Regional Studies	2前		2							2
	Current Topics in Global Issues	2後		2							1
	Japanese Contemporary Issues	2後		2							1
	Japanese Traditional Culture	2後		2							1
	Current Topics in World Affairs	2前		2							2
	小計(9科目)	—	0	18	0	0	0	0	0	0	0
専門科目・広域基礎科目	日本史概論 I	2前		2							1
	日本史概論 II	2後		2							1
	世界史概論 I	2前		2							1
	世界史概論 II	2後		2							1
	人文地理学	2前		2		1					
	自然地理学	2前		2		1	0				
	地誌学	2後		2							1
	現代の政治学	2後		2							1
小計(8科目)	—	0	16	0	2	0	0	0	0	0	4
教職課程の大学が独自に設	教職特論演習 I	3後			2						1
	教職特論演習 II	4前			2						1
	学校経営と学校図書館	2前			2						1
	学校図書館メディアの構成	2後			2						1
	学習指導と学校図書館	2前			2						1
	読書と豊かな人間性	2後			2						1
	情報メディアの活用	2後			2						1
小計(7科目)	—	0	0	14	0	0	0	0	0	0	4

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目・応用発展科目	財政学A	2前		2								1
	財政学B	2後		2								1
	公共経済学	2後		2								1
	教育経済学	2後		2					1			0
	社会保障論A	2前		2					1			0
	社会保障論B	2後		2					1			0
	医療経済学	2前		2					1			0
	ベーシック民法	2前		2				1				
	公共政策特殊講義	2前		2								1
	政策課題演習	3前		2				1				
小計(10科目)	—	0	20	0	1	0	1	0	1	0	0	4
EAGLE国際教養科目・専門科目・応用発展科目	International Business	2後		2								2
	Japanese Economy	2前		2								1
	Current Topics in Business and Economics	2前		2								2
	International Relations	2前		2								1
	Regional Studies	2前		2								3
	Current Topics in Global Issues	2前		2								2
	Japanese Contemporary Issues	2前		2								1
	Japanese Traditional Culture	2後		2								1
	Current Topics in World Affairs	2前		2								2
	小計(9科目)	—	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0
専門科目・広域基礎科目	日本史概論 I	2前		2								1
	日本史概論 II	2後		2								1
	世界史概論 I	2前		2								1
	世界史概論 II	2後		2								1
	人文地理学	2前		2				1				
	自然地理学	2後		2				1	0			
	地誌学	2後		2								1
	現代の政治学	2前		2								1
小計(8科目)	—	0	16	0	2	0	0	0	0	0	0	4
教職課程の大学が独自に設	教職特論演習 I	3後			2							1
	教職特論演習 II	4前			2							1
	学校経営と学校図書館	2前			2							1
	学校図書館メディアの構成	2後			2							1
	学習指導と学校図書館	2前			2							1
	読書と豊かな人間性	2後			2							1
	情報メディアの活用	2後			2							1
小計(7科目)	—	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	4

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必	選	自	教	准	講	助	助		
			修	択	由	授	授	師	教	手		
教職の教科及び教職に関する科目	教職論	1前後			2							1
	教育課程論	2後			2							1
	道徳教育の指導法	3前後			2							2
	総合的な学習の時間の指導法	3後			2							1
	特別活動の指導法	3後			2							1
	教育方法論	2前後			2							3
	生徒・進路指導論	1後			2							1
	生徒指導論	1後			2							1
	教育相談	2前後			2							2
	進路指導論	1前後			2							1
	教育実習論	3後			1							3
	教育実習(中・高)	4通			5							3
	教育実習(高)	4通			3							3
	教職実践演習(中・高)	4後			2							4
	社会科教育法A	3前			2							1
社会科教育法B	3前			2							1	
社会科・地理歴史科教育法	2後			2							1	
社会科・公民科教育法	2後			2							1	
地理歴史科教育法	3後			2							1	
公民科教育法	3後			2							1	
小計(20科目)	—	0	0	43	0	0	0	0	0	0	12	
専門科目 小計(152科目)	—	10	244	57	8	2	2	1	0	0	49	
合計(424科目)	—	14	739	57	8	2	2	1	0	0	283	

卒業要件及び履修方法

4年以上在学し、かつ、次のすべての要件を満たした上で、124単位以上を修得すること。

(1) 全学共通科目にあっては、次の要件を満たした上で28単位以上修得すること。

①「外国語(英語科目、初修外国語科目)」「技能(日本語力科目、キャリア教育科目、情報基盤科目、健康・スポーツ科目)」から16単位以上(このうち英語科目を必修4単位を含め6単位以上)

②「教養基礎」「持続社会探究」から8単位以上

(2) 現代経済学科専門科目にあっては、次の要件を満たした上で76単位以上修得すること。

①「ゼミナール科目」: 必修科目10単位

②「サステナビリティ研究科目」

地域コミュニティ経済科目: 6単位以上

グローバル経済科目: 6単位以上

③「基盤科目」

基盤Ⅰから12単位以上および基盤Ⅱから6単位以上含み、基盤ⅠとⅡの合計が20単位以上

④「総合科目」: 制度・歴史から4単位以上を含み、6単位以上

⑤「応用発展科目」

企業経済科目、金融経済科目、地域・環境科目、公共政策科目から各4単位以上を含み、26単位以上

(3) 卒業に必要な単位124単位のうち、(1)(2)から規定単位数を差し引いた残り20単位については、(1)(2)において規定単位数以上を修得した科目の単位を合計する。

(履修科目の登録の上限: 40単位(年間))

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必	選	自	教	准	講	助	助		
			修	択	由	授	授	師	教	手		
教職の教科及び教職に関する科目	教職論	1前後			2							1
	教育課程論	2後			2							1
	道徳教育の指導法	3前後			2							2
	総合的な学習の時間の指導法	3後			2							1
	特別活動の指導法	3後			2							1
	教育方法論	2前後			2							3
	生徒・進路指導論	1後			2							1
	生徒指導論	1後			2							1
	教育相談	2前後			2							2
	進路指導論	1前			2							1
	教育実習論	3後			1							3
	教育実習(中・高)	4通			5							3
	教育実習(高)	4通			3							3
	教職実践演習(中・高)	4後			2							4
	社会科教育法A	3前			2							1
社会科教育法B	3前			2							1	
社会科・地理歴史科教育法	2後			2							1	
社会科・公民科教育法	2後			2							1	
地理歴史科教育法	3後			2							1	
公民科教育法	3後			2							1	
小計(20科目)	—	0	0	43	0	0	0	0	0	0	11	
専門科目 小計(146科目)	—	10	232	57	9	2	1	1	0	0	77	
合計(418科目)	—	14	727	57	9	2	1	1	0	0	279	

卒業要件及び履修方法

4年以上在学し、かつ、次のすべての要件を満たした上で、124単位以上を修得すること。

(1) 全学共通科目にあっては、次の要件を満たした上で28単位以上修得すること。

①「外国語(英語科目、初修外国語科目)」「技能(日本語力科目、キャリア教育科目、情報基盤科目、健康・スポーツ科目)」から16単位以上(このうち英語科目を必修4単位を含め6単位以上)

②「教養基礎」「持続社会探究」から8単位以上

(2) 現代経済学科専門科目にあっては、次の要件を満たした上で76単位以上修得すること。

①「ゼミナール科目」: 必修科目10単位

②「サステナビリティ研究科目」

地域コミュニティ経済科目: 6単位以上

グローバル経済科目: 6単位以上

③「基盤科目」

基盤Ⅰから12単位以上および基盤Ⅱから6単位以上含み、基盤ⅠとⅡの合計が20単位以上

④「総合科目」: 制度・歴史から4単位以上を含み、6単位以上

⑤「応用発展科目」

企業経済科目、金融経済科目、地域・環境科目、公共政策科目から各4単位以上を含み、26単位以上

(3) 卒業に必要な単位124単位のうち、(1)(2)から規定単位数を差し引いた残り20単位については、(1)(2)において規定単位数以上を修得した科目の単位を合計する。

(履修科目の登録の上限: 40単位(年間))

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通科目・外国語・英語科目	College English (Listening & Speaking) I	1前	1								7
	College English (Reading & Writing) I	1前	1								7
	College English (Listening & Speaking) II	1後	1								7
	College English (Reading & Writing) II	1後	1								7
	Intensive English I	1前		1							1
	Intensive English II	1後		1							1
	College English (Integrated Skills) I	2前		1							4
	College English (Integrated Skills) II	2後		1							4
	TOEFL Preparation Introduction	1前後		1							2
	TOEFL Preparation Intermediate	1前後		1							2
	TOEIC Preparation Introduction	1前後		1							3
	TOEIC Preparation Intermediate	1前後		1							4
	IELTS Preparation Introduction	1前後		1							2
	IELTS Preparation Intermediate	1前後		1							2
	基礎からのコミュニケーション英文法	1前後		2							2
	自分でデザインする英語学習	1前後		2							1
	英語発音トレーニング	1前後		2							1
	英語読解トレーニング	1前後		2							1
	Presentation Skills Basic	1前後		2							1
	Discussion Skills Basic	1前後		2							2
	Writing Skills (Paragraph)	1前後		2							2
	Presentation Skills Intermediate	1後		2							1
	Discussion Skills Intermediate	1後		2							1
	Writing Skills (Essay)	1後		2							1
	多読で学ぶ英語と文化 I (名称変更)	2前		2							1
	多読で学ぶ英語と文化 II	2後		2							1
	映画で学ぶ英語と文化	2前		2							1
	ドラマで学ぶ英語と文化	2前		2							1
	歌で学ぶ英語と文化	2前		2							1
	メディアで学ぶ英語と文化	2前		2							1
	キャリアのための英語と文化	2前		2							1
	TOEFL Preparation Advanced I	1前		1			1				0
	TOEFL Preparation Advanced II	1後		1			1				0
	IELTS Preparation Advanced I	1前		1							1
	IELTS Preparation Advanced II	1後		1							1
	TOEIC Preparation Advanced	1前後		1							1
	Media English	2前		2							1
	Academic Listening	2前後		2							1
	Cross Cultural Communication Skills	2前後		2							2
	Discussion & Presentation	2後		2							1
	English for the Workplace	2後		2							1
	Essay Writing	2前後		2							2
	Intensive Reading	2前後		2							2
	World Englishes	2後		2							1
小計(44科目)	—		4	65	0	0	1	0	0	0	34
全学共通科目・外国語・初修外国語科目	ドイツ語基礎A I	1前		1							1
	ドイツ語基礎B I	1前		1							1
	フランス語基礎A I	1前		1							1
	フランス語基礎B I	1前		1							1
	スペイン語基礎A I	1前		1							3
	スペイン語基礎B I	1前		1							2
	中国語基礎A I	1前		1							4
	中国語基礎B I	1前		1							4
	韓国語基礎A I	1前		1							1
	韓国語基礎B I	1前		1							1
	ドイツ語基礎A II	1後		1							1
	ドイツ語基礎B II	1後		1							1
	フランス語基礎A II	1後		1							1
	フランス語基礎B II	1後		1							1
	スペイン語基礎A II	1後		1							3
	スペイン語基礎B II	1後		1							2
中国語基礎A II	1後		1							4	
中国語基礎B II	1後		1							4	
韓国語基礎A II	1後		1							1	
韓国語基礎B II	1後		1							1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	ドイツ語演習コミュニケーションⅠ	1前		2								2
	ドイツ語演習コミュニケーションⅡ	1後		2								2
	ドイツ語演習コミュニケーションⅢ	2前		2								1
	ドイツ語演習コミュニケーションⅣ	2後		2								1
	ドイツ語演習コミュニケーションⅤ	2前		2								1
	フランス語演習コミュニケーションⅠ	1前		2								1
	フランス語演習コミュニケーションⅡ	1後		2								1
	フランス語演習コミュニケーションⅢ	2前		2								1
	フランス語演習コミュニケーションⅣ	2後		2								1
	フランス語演習コミュニケーションⅤ	2前		2								1
	スペイン語演習コミュニケーションⅠ	1前		2								2
	スペイン語演習コミュニケーションⅡ	1後		2								2
	スペイン語演習コミュニケーションⅢ	2前		2								1
	スペイン語演習コミュニケーションⅣ	2後		2								1
	スペイン語演習コミュニケーションⅤ	2前		2								1
	中国語演習コミュニケーションⅠ	1前		2								5
	中国語演習コミュニケーションⅡ	1後		2								5
	中国語演習コミュニケーションⅢ	2前		2								1
	中国語演習コミュニケーションⅣ	2後		2								1
	中国語演習コミュニケーションⅤ	2前		2								1
	韓国語演習コミュニケーションⅠ	1前		2								2
	韓国語演習コミュニケーションⅡ	1後		2								2
	韓国語演習コミュニケーションⅢ	2前		2								1
	韓国語演習コミュニケーションⅣ	2後		2								1
	韓国語演習コミュニケーションⅤ	2前		2								1
	ドイツ語演習言語と文化Ⅰ	2前		2								1
	ドイツ語演習言語と文化Ⅱ	2後		2								1
	ドイツ語演習言語と文化Ⅲ	2前		2								1
	ドイツ語演習言語と文化Ⅳ	2後		2								1
	フランス語演習言語と文化Ⅰ	2前		2								1
	フランス語演習言語と文化Ⅱ	2後		2								1
	フランス語演習言語と文化Ⅲ	2前		2								1
	フランス語演習言語と文化Ⅳ	2後		2								1
	スペイン語演習言語と文化Ⅰ	2前		2								1
	スペイン語演習言語と文化Ⅱ	2後		2								1
	スペイン語演習言語と文化Ⅲ	2前		2								1
	スペイン語演習言語と文化Ⅳ	2後		2								1
	中国語演習言語と文化Ⅰ	2前		2								1
	中国語演習言語と文化Ⅱ	2後		2								1
	中国語演習言語と文化Ⅲ	2前		2								1
	中国語演習言語と文化Ⅳ	2後		2								1
	韓国語演習言語と文化Ⅰ	2前		2								1
	韓国語演習言語と文化Ⅱ	2後		2								1
	韓国語演習言語と文化Ⅲ	2前		2								1
	韓国語演習言語と文化Ⅳ	2後		2								1
	ドイツ語演習検定対策Ⅰ	2前		2								1
	ドイツ語演習検定対策Ⅱ	2後		2								1
	ドイツ語演習検定対策Ⅲ	2前		2								1
	ドイツ語演習検定対策Ⅳ	2後		2								1
	フランス語演習検定対策Ⅰ	2前		2								1
	フランス語演習検定対策Ⅱ	2後		2								1
	フランス語演習検定対策Ⅲ	2前		2								1
	フランス語演習検定対策Ⅳ	2後		2								1
	スペイン語演習検定対策Ⅰ	2前		2								1
	スペイン語演習検定対策Ⅱ	2後		2								1
	スペイン語演習検定対策Ⅲ	2前		2								1
	スペイン語演習検定対策Ⅳ	2後		2								1
	中国語演習検定対策Ⅰ	2前		2								1
	中国語演習検定対策Ⅱ	2後		2								1
	中国語演習検定対策Ⅲ	2前		2								1
	中国語演習検定対策Ⅳ	2後		2								1
	韓国語演習検定対策Ⅰ	2前		2								1
	韓国語演習検定対策Ⅱ	2後		2								1
	韓国語演習検定対策Ⅲ	2前		2								1
	韓国語演習検定対策Ⅳ	2後		2								1
	ドイツ語演習プレゼンテーションⅠ	2前		2								1
	ドイツ語演習プレゼンテーションⅡ	2後		2								1

全学共通科目・外国語・初修外国語科目

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通科目・外国語・初修外国語科目	フランス語演習プレゼンテーションⅠ	2前		2								1
	フランス語演習プレゼンテーションⅡ	2後		2								1
	スペイン語演習プレゼンテーションⅠ	2前		2								1
	スペイン語演習プレゼンテーションⅡ	2後		2								1
	中国語演習プレゼンテーションⅠ	2前		2								1
	中国語演習プレゼンテーションⅡ	2後		2								1
	韓国語演習プレゼンテーションⅠ	2前		2								1
	韓国語演習プレゼンテーションⅡ	2後		2								1
	世界の言語(ロシア語Ⅰ)	1前		1								1
	世界の言語(ロシア語Ⅱ)	1後		1								1
	世界の言語(タイ語Ⅰ)	1前		1								1
	世界の言語(タイ語Ⅱ)	1後		1								1
	世界の言語(イタリア語Ⅰ)	1前		1								1
世界の言語(イタリア語Ⅱ)	1後		1								1	
小計(101科目)	—	0	176	0	0	0	0	0	0	0	39	
全学共通科目・技能・日本語力科目	実践日本語表現	1前後		2								4
	実践話し方入門	1前後		2								1
	日本語表現講義	1前後		2								1
	実践漢字講座	1前後		2								1
	語彙・読解講座	1後		2								1
	古典に学ぶ日本語表現	1前後		2								2
	実用文書の作り方・情報の伝え方	2前後		2								2
	テーマ別日本語表現(文芸をたのしむ)	2後		2								1
	テーマ別日本語表現(成語俚句教室)	2前		2								1
	テーマ別日本語表現(源氏物語を読む)	2前		2								1
	テーマ別日本語表現(文章表現を磨く)	2前後		2								1
	テーマ別日本語表現(話し方を磨く)	2前		2								1
小計(12科目)	—	0	24	0	0	0	0	0	0	0	12	
全学共通科目・技能・キャリア教育科目	キャリアプランニング	1前後		2								5
	ビジネストレーニングセミナー	1後		2								2
	キャリアセミナー	2前後		2								1
	グローバルキャリアセミナー	2後		2								1
	キャリア発展講義	2後		2								1
	日本企業の現状と展望	2後		2								2
	インターンシップ準備講座	3前		2								1
	インターンシップ実習	3後		2								1
	発展インターンシップ準備講座	3前		2								1
	発展インターンシップ実習	3後		2								1
	Global Career Design	3後		2								1
小計(11科目)	—	0	22	0	0	0	0	0	0	0	9	
全学共通科目・技能・情報基盤科目	情報基礎	1前		2								3
	情報活用A	1後		2								2
	情報活用B	1後		2								1
	情報活用C	1後		2								1
	情報活用D	1後		2								1
	情報活用E	1後		2								1
	情報活用F	1後		2								1
小計(7科目)	—	0	14	0	0	0	0	0	0	0	8	
全学共通科目・健康・スポーツ科目	健康・スポーツ演習A	1後		2								5
	健康・スポーツ演習B	1後		2								19
	スポーツと科学	1前		2								1
	健康と科学	1前		2								1
	スポーツと文化	1後		2								1
	スポーツと社会	1後		2								1
小計(6科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	0	19	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
			修	択	由	授	授	師	教	手		
全学共通科目・教養基礎・人文学	哲学の基礎	1前後		2								3
	倫理学の基礎	1前後		2								2
	現代社会と哲学	1後		2								1
	現代社会と倫理学	1後		2								1
	文学への招待	1前後		2			1					2
	芸術への招待	1前後		2								2
	カルチュラル・スタディーズ	1前後		2								4
	心理学の基礎	1前後		2								3
	自己理解の心理学	1前後		2								3
	教育原理	1前後		2								2
	教育心理学	1前後		2								2
小計(11科目)	—	0	22	0	0	1	0	0	0	0	21	
全学共通科目・教養基礎・社会科学	政治学の基礎	1前後		2								1
	社会学と現代	1前後		2								2
	日本国憲法	1前後		2								2
	市民生活と法A	1前		2		1						
	市民生活と法B	1後		2		1						
	現代のマスメディア	1前		2		1						
	社会心理学入門	1前後		2								1
	企業と社会	1前後		2								1
	学校と社会	1後		2								1
	近現代日本史A	1前		2								2
	近現代日本史B	1後		2								3
	現代社会の地理	1前後		2								2
小計(12科目)	—	0	24	0	2	0	0	0	0	0	14	
全学共通科目・教養基礎・自然科学	物質の究極像	1後		2								1
	人間と進化	1後		2								1
	脳科学と心	1前後		2								1
	天文学入門	1前		2								2
	薬はなぜ効くか	1後		2								1
	身の回りの科学	1前		2								1
	科学史	1前		2								1
	科学技術の発展と歴史	1後		2								1
	サイエンス・トピックス(熱と光の科学)	1後		2								1
	サイエンス・トピックス(物質の科学)	1前		2								1
	サイエンス・トピックス(数の世界)	1前		2								1
	サイエンス・トピックス(生命の科学)	1後		2								1
	サイエンス・トピックス(文系のための数学)	1後		2								1
	サイエンス・トピックス(文系のための科学実験)	1後		2								2
小計(14科目)	—	0	28	0	0	0	0	0	0	0	16	
全学共通科目・地域・環境・持続社会探究・環境	地球と環境	2前		2								1
	気象と地球環境	2後		2		1	0					
	自然環境と文明	2前		2								1
	日本列島の歴史と災害	2前		2								1
	日本の国土と社会	2前後		2		1						
	外国の自然と社会A	2後		2								1
	外国の自然と社会B	2前		2								1
	地域づくり論	2前		2								1
	環境科学トピックス(生命と環境)	2前		2								1
	環境科学トピックス(食料と環境)	2後		2								1
小計(10科目)	—	0	20	0	2	0	0	0	0	0	7	
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
全学共通科目・持続社会探究・国際理解	戦後の日本と世界	2前後		2								1
	近現代のアジアA	2前		2								1
	近現代のアジアB	2後		2								1
	近現代の欧米A	2前		2								1
	近現代の欧米B	2後		2								1
	中東地域史	2前		2								1
	現代の国際政治	2前		2								1
	グローバル経済論	2前		2		1						
	国際文化交流論	2後		2								1
	異文化理解トピックス(ドイツ語圏)	2後		2								1
	異文化理解トピックス(フランス語圏)	2後		2								1
	異文化理解トピックス(スペイン語圏)	2後		2								1
	異文化理解トピックス(中国語圏)	2後		2								1
	異文化理解トピックス(韓国語圏)	2後		2								1
	異文化理解トピックス(イスラーム世界)	2後		2								1
小計(15科目)	—	0	30	0	1	0	0	0	0	0	12	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通科目・共生・持続社会探究・人	裁判と社会	2後		2								1
	生命倫理と法	2後		2								1
	地域福祉論	2前		2								1
	人権とジェンダー	2前		2								1
	こころの健康と臨床	2前		2								1
	高齢者福祉論(名称変更)	2前		2								1
	福祉社会に生きる	2後		2								1
	特別支援教育概論	2前		2								1
	共生社会トピックス(アートと社会)	2前		2								1
	共生社会トピックス(日本女性史)	2後		2								1
小計(10科目)	—	0	20	0	0	0	0	0	0	0	9	
全学共通科目・持続社会探究・実践	成蹊を知る	1後		2								1
	情報保障とボランティア	1後		2								1
	野外自然教育論(未開講)	1後		2								0
	地元学実践演習	1後		2								1
	武蔵野地域研究	1後		2								1
	武蔵野市寄附講座	1後		2								1
	大学生生活と相互理解	1後		2								2
	成蹊グローバルセミナーA	1前		2								1
	成蹊グローバルセミナーB	1後		2								1
	武蔵野地域連携セミナー	1前後		2								3
	Global Studies Seminar I (Academic Study Abroad Preparation)	1前		2								1
	Global Studies Seminar II (Global Citizenship)	1後		2								2
	Global Studies Seminar III (Japanese Culture)	2前		2								1
小計(13科目)	—	0	26	0	0	0	0	0	0	0	15	
全学共通科目 小計(266科目)		4	483	0	5	1	0	0	0	0	198	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目・ゼミナール	基礎ゼミナール	1前	2			3	1			1		7
	プレゼンテーション演習	2前		2		1	0					
	上級ゼミナールⅠ	3前	2			7	0					
	上級ゼミナールⅡ	3後	2			7	0					
	経済学ワークショップ	3通		4		1						
	卒業研究	4通		4		7	0					
	小計(6科目)		10	6	0	7	1	0	1	0	0	7
専門科目・地域・コミュニケーション・サステナビリティ・経済学研究科	フィールドワークの技法	1後		2		1						
	社会調査の技法	2前		2		1						1
	地域研究法	2前		2								
	情報分析ゼミナール(産業連関分析)	2前		2		1						
	実践ゼミナールA	2前		2		1						
	実践ゼミナールB	2前		2		1						
	コミュニティ研究ゼミナール	2前		2		1						1
	GISゼミナール	2前		2		1	0					
	小計(8科目)		0	16	0	5	0	0	0	0	0	2
専門科目・グローバル・サステナビリティ・経済学研究科	エリア・スタディーズA	2前		2								1
	エリア・スタディーズB	2前		2		1						
	文化と経済(欧米世界)	2前		2								1
	国際理解ゼミナール	2前		2		1						1
	Special Lectures on International Communications	2前		2		1						
	Special Lecture on Global Economy	2前		2		1						
	グローバル特殊講義(国際労働市場)	2前		2		1						1
	グローバル特殊講義(統計でまなぶ世界経済)	2前		2								
	外国語短期研修	2前		2		1						
	小計(9科目)		0	18	0	3	0	0	0	0	0	4
専門科目・基盤科目・基盤Ⅰ	初級ミクロ経済学Ⅰ	1前		2								1
	初級マクロ経済学Ⅰ	1前		2		0			1			
	初級統計学Ⅰ	1前		2								1
	初級経済数学	1前		2								1
	初級ミクロ経済学Ⅱ	1後		2								1
	初級マクロ経済学Ⅱ	1後		2								1
	初級統計学Ⅱ	1後		2								1
	社会経済地理学	1後		2		1						
	小計(8科目)		0	16	0	1	0	0	1	0	0	5
専門科目・基盤科目・基盤Ⅱ	中級ミクロ経済学	2前		2								1
	中級マクロ経済学	2前		2					1			0
	中級経済数学	2前		2								1
	中級計量経済学	2前		2		1						
	ゲーム理論	2前		2								1
	応用計量経済学	2後		2		1						
	国際マクロ経済学	2前		2		1						1
	行動経済学	2前		2								1
	情報の経済学	2後		2								1
	経済発展論	2前		2								1
	人口学	2前		2								1
	社会学	2前		2		1						
	小計(12科目)		0	24	0	3	0	0	1	0	0	7
専門科目・総合科目・制度・歴史	経済史の基礎	1後		2								1
	現代日本経済	2後		2		1						
	数量経済史	2前		2		1						
	日本経済史A	2前		2		1						
	日本経済史B	2後		2		1						
	西洋経済史A	2前		2								1
	西洋経済史B	2後		2								1
	比較経済史	2前		2								1
	経済学史	2前		2								1
	地域経済史	2前		2								1
	社会思想史	2後		2		1						
	社会史	2前		2		1						
	総合特殊講義(家族関係と法)	2前		2		1						
	小計(13科目)		0	26	0	3	0	0	0	0	0	3
専門科目・社会理解総合科	労働法	2後		2								1
	企業会計	2前		2								1
	社会理解実践講義	2前		2								1
	経済実務講義	2前		2								1
		小計(4科目)		0	8	0	0	0	0	0	0	0

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目・応用発展科目・企業経済	産業組織論A	2前		2		1						
	産業組織論B	2後		2		1						
	組織の経済学	2後		2		1						
	法と経済	2後		2		1						
	国際経済学A	2前		2		1						
	国際経済学B	2後		2		1						
	労働経済学	2後		2								1
	企業を取り巻く法律	2前		2								1
	企業経済特殊講義(観光と経済)	2前		2		1						
	企業経済特殊講義(企業の社会的責任)	2前		2								1
小計(10科目)	—	0	20	0	3	0	0	0	0	0	3	
専門科目・金融・経済科目	ファイナンスA	2前		2		1						
	ファイナンスB	2後		2		1						
	金融論A	2前		2								1
	金融論B	2後		2								1
	金融に関する法律	2前		2								1
	国際金融論	2後		2		1						1
小計(6科目)	—	0	12	0	2	0	0	0	0	0	3	
専門科目・応用発展科目・地域・環境	環境経済学A	2前		2								1
	環境経済学B	2後		2								1
	都市経済学	2後		2								1
	経済地理学A	2前		2		1						
	経済地理学B	2後		2		1						
	地球環境問題	2前		2		1	0					
	資源経済学	2前		2								1
	環境と法	2前		2		1						
	地域・環境特殊講義(環境社会学の基礎)	2前		2		1						
	地域・環境特殊講義(交通経済学)	2前		2								1
小計(10科目)	—	0	20	0	4	0	0	0	0	0	4	
専門科目・応用発展科目・公共政策	財政学A	2前		2								1
	財政学B	2後		2								1
	公共経済学	2後		2								1
	教育経済学	2後		2								1
	社会保障論A	2前		2								1
	社会保障論B	2後		2								1
	医療経済学	2前		2								1
	ベーシック民法	2前		2		1						
	公共政策特殊講義	2後		2								1
	政策課題演習	3前		2		1						
小計(10科目)	—	0	20	0	1	0	0	0	0	0	4	
EAGLE国際教養科目	International Business	2前		2								1
	Japanese Economy	2前		2								1
	Current Topics in Business and Economics	2前		2								1
	International Relations	2後		2								1
	Regional Studies	2前		2								1
	Current Topics in Global Issues	2前		2								1
	Japanese Contemporary Issues	2後		2								1
	Japanese Traditional Culture	2後		2								1
	Current Topics in World Affairs	2前		2								1
小計(9科目)	—	0	18	0	0	0	0	0	0	0	8	
専門科目・広域基礎科目	日本史概論 I	2前		2								1
	日本史概論 II	2後		2								1
	世界史概論 I	2前		2								1
	世界史概論 II	2後		2								1
	人文地理学	2前		2		1						
	自然地理学	2後		2		1	0					
	地誌学	2後		2								1
	現代の政治学	2後		2								1
小計(8科目)	—	0	16	0	2	0	0	0	0	0	4	
教職課程の大学が独自に設ける科目	教職特論演習 I	3後			2							1
	教職特論演習 II	4前			2							1
	学校経営と学校図書館	2前			2							1
	学校図書館メディアの構成	2後			2							1
	学習指導と学校図書館	2前			2							1
	読書と豊かな人間性	2後			2							1
	情報メディアの活用	2後			2							1
小計(7科目)	—	0	0	14	0	0	0	0	0	0	4	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教職の教科及び教職に関する科目	教職論	1前後			2							1
	教育課程論	2前			2							1
	道徳教育の指導法	3前			2							2
	総合的な学習の時間の指導法	3前			2							1
	特別活動の指導法	3前			2							1
	教育方法論	2前			2							4
	生徒・進路指導論	1集中			2							2
	教育相談	2前			2							2
	教育実習論	3後			1							3
	教育実習(中・高)	4通			5							3
	教育実習(高)	4通			3							3
	教職実践演習(中・高)	4後			2							4
	社会科教育法A	3前			2							1
	社会科教育法B	3前			2							1
	社会科・地理歴史科教育法	2後			2							1
	社会科・公民科教育法	2後			2							1
	地理歴史科教育法	3後			2							1
	公民科教育法	3後			2							1
小計(18科目)	—	0	0	39	0	0	0	0	0	0	9	
専門科目 小計(138科目)	—	10	220	53	9	1	0	1	0	0	49	
合計(404科目)	—	14	703	0	9	1	0	1	0	0	237	

卒業要件及び履修方法

4年以上在学し、かつ、次のすべての要件を満たした上で、124単位以上を修得すること。

(1) 全学共通科目にあっては、次の要件を満たした上で28単位以上修得すること。

①「外国語(英語科目、初修外国語科目)」「技能(日本語力科目、キャリア教育科目、情報基盤科目、健康・スポーツ科目)」から16単位以上(このうち英語科目を必修4単位を含め6単位以上)

②「教養基礎」「持続社会探究」から8単位以上

(2) 現代経済学科専門科目にあっては、次の要件を満たした上で76単位以上修得すること。

①「ゼミナール科目」: 必修科目10単位

②「サステナビリティ研究科目」

地域コミュニティ経済科目: 6単位以上

グローバル経済科目: 6単位以上

③「基盤科目」

基盤Ⅰから12単位以上および基盤Ⅱから6単位以上含み、基盤ⅠとⅡの合計が20単位以上

④「総合科目」: 制度・歴史から4単位以上を含み、6単位以上

⑤「応用発展科目」

企業経済科目、金融経済科目、地域・環境科目、公共政策科目から各4単位以上を含み、26単位以上

(3) 卒業に必要な単位124単位のうち、(1)(2)から規定単位数を差し引いた残り20単位については、(1)(2)において規定単位数以上を修得した科目の単位を合計する。

(履修科目の登録の上限: 40単位(年間))

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

(別紙 EC令2-1) のとおり。

【令和3年度】

(別紙 EC令3-1) のとおり。

【令和4年度】

(別紙 EC令4-1) のとおり。

【令和5年度】

(別紙 EC令5-1) のとおり。

- (注) ・ 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容 (配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など) を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度 (令和4年度開設であれば令和3年度以前) の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
8 科目	370 科目	25 科目	403 科目	8 科目 [0]	392 科目 [22]	28 科目 [3]	428 科目 [25]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	情報分析ゼミナール（産業連関分析）	2	2前	専門	選択	担当予定者が海外研修中のため。2024年度より開講予定。
2	数量経済史	2	2前	専門	選択	担当予定者が海外研修中のため。2024年度より開講予定。
3	グローバル特殊講義（国際労働市場）	2	2前	専門	選択	担当配置を見直したため。同「グローバル特殊講義」として別途2科目を開講。
4	グローバル特殊講義（統計でまなぶ世界経済）	2	2前	専門	選択	担当予定者が出講を辞退したため。同「グローバル特殊講義」として別途2科目を開講。
5	企業経済特殊講義（観光と経済）	2	2前	専門	選択	担当配置を見直したため。同「企業経済特殊講義」として別途2科目を開講。
6	スペイン語演習コミュニケーションⅤ	2	2前	一般	選択	上級科目のため、前年度において履修者が見込まれないと判断したため。2024年度に向けては初級科目の履修者に働きかけを行い、開講予定。
7	ドイツ語演習検定対策Ⅲ	2	2前	一般	選択	上級科目のため、前年度において履修者が見込まれないと判断したため。2024年度に向けては初級科目の履修者に働きかけを行い、開講予定。
8	ドイツ語演習検定対策Ⅳ	2	2後	一般	選択	上級科目のため、前年度において履修者が見込まれないと判断したため。2024年度に向けては初級科目の履修者に働きかけを行い、開講予定。
9	生命倫理と法	2	2後	一般	選択	隔年開講科目のため。2024年度は開講予定。
10	経済学ワークショップ	4	3通	専門	選択	早期卒業候補者向け科目であり、今年度は対象者なしのため。
11	生徒・進路指導論	2	1後	専門	自由	別途「生徒指導論」「進路指導論」を新設したため。教職課程履修学生の履修状況を確認した結果、今後も履修対象者がいないと判断している。

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講となった科目3～5は同科目として別途科目を開講している。1～2、6～10については、次年度以降に開講する予定であり、学生の履修機会は確保できると考えられる。なお、当該学生には、履修登録前にポータルサイト等で周知済みである。
 「生徒・進路指導論」については、教職課程履修学生のみ履修できる科目であり、その履修状況を確認した結果、今後も履修対象者がいないと判断しており、学生への影響はない。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{11}{403} = \boxed{2.72}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考	
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	成蹊高等学校 (必要面積13,704 ㎡)(収容定員:966人) と共用 成蹊中学校 (必要面積12,924 ㎡)(収容定員:801人) と共用 成蹊小学校 (必要面積10,620 ㎡)(収容定員:720人) と共用	
	校舎敷地	78,816.78㎡	0㎡	51,241.63㎡	130,058.41㎡		
	運動場用地	87,580.85㎡	0㎡	18,671.01㎡	106,251.86㎡		
	小 計	166,397.63㎡	0㎡	69,912.64㎡	236,310.27㎡		
	そ の 他	8,256.21㎡	237,813.30㎡	0㎡	246,069.51㎡		
	合 計	174,653.84㎡	237,813.30㎡	69,912.64㎡	482,379.78㎡		
(2) 校 舎	専 用		共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学13号館解体のため(3) トラスコンガーデンの耐 震及び一部取壊しのため (4) トラスコンガーデンの耐 震及び一部取壊し後に発 生した面積の誤差並びに 液体窒素保管庫の増築の ため(5)	
		88,391.69㎡ 88,405.82㎡ 88,573.57㎡ 92,528.93㎡	0㎡	0㎡	88,391.69㎡ 88,405.82㎡ 88,573.57㎡ 92,528.93㎡		
		(92,528.93㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(92,528.93㎡)		
(3) 教 室 等	講 義 室		演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	実験実習室:用途の見直 し及び新校舎建設工事に 伴う減室のため。(5) 実験実習室:用途変更に よる増室のため。(4) 演習室:院生用研究室に 用途変更のため。(3) 実験実習室:大学13号館 解体のため(3) 情報処理学習施設:実験 実習室に用途変更したた め。(3) 1室について、語学学習施 設から情報処理学習施設 に用途変更したため。 (2)
		70室	39室 46室	173室 180室 179室 211室	7室 9室 8室	5室 6室	
				(補助職員0人)	(補助職員0人)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		令和5年3月末で専任教授1 名が退職のため。(5) 令和4年3月末で1名退職の ため。(4) 令和2年4月 現代経済学科 専任准教授1名を新規採 用のため(2)	
	経済学部 現代経済学科			13 14 15 14			室

(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	<p>大学全体での共用分図書 179,214 [44,851] (172,298 [44,332]) (86,127 [12,096]) (82,300 [12,091]) (83,820 [11,786]) (93,531 [10,507])</p> <p>(変更理由)</p>
	経済学部	70,049 [33,974] (67,267 [33,361]) (66,763 [33,192]) (67,069 [33,291]) (64,589 [33,277]) (63,264 [32,428])	788 [300] (788 [300]) (88 [29]) (79 [25]) (85 [31]) (64 [18])	73 [73] (73 [73]) (118 [118]) (74 [74]) (56 [56])	29,937 (27,265) (39,718) (9,935) (10,086) (9,830)	284 (284) (252) (231) (206)	0 (0)	<p>変更理由は、「7その他全般的事項」(1)設置計画変更事項等記載(2)。</p> <p>図書：計画通り、図書を購入したため(3) 学術雑誌：電子ジャーナルに移行するため(3) 電子ジャーナル：海外の出版社による電子資料の価格高騰のため。(3) 視聴覚資料：算出方法を見直し、改めて集計したため。(3) 大学全体での共用分図書：請求記号(本学図書館の分類方法)を変更したため。(3)</p> <p>図書：複本の除籍のため。(4) 学術雑誌：契約の見直しのため。(4) 電子ジャーナル：契約の見直しのため。(4) 視聴覚資料：新規購入及び寄贈受入のため。(4) 機械・器具：図書館内設置のパソコン台数を減らしたため。パソコン台数は十分に確保しているため、このことによる支障はない。(4) 大学全体での共用分図書：新規購入及び寄贈受入のため。外国書については、複本の除籍のため減少した。(4)</p>
	計	70,049 [33,974] (67,267 [33,361]) (66,763 [33,192]) (67,069 [33,291]) (64,589 [33,277]) (63,264 [32,428])	788 [300] (788 [300]) (88 [29]) (79 [25]) (85 [31]) (64 [18])	73 [73] (73 [73]) (118 [118]) (74 [74]) (56 [56])	29,937 (27,265) (39,718) (9,935) (10,086) (9,830)	284 (284) (252) (231) (206)	0 (0)	<p>図書：複本及び内容の陳腐化等による除籍のため。(5) 学術雑誌：契約の見直しのため。(5) 視聴覚資料：除籍のため。(5) 機械・器具：パソコン等の設置場所の見直しのため。このことによる支障はない。(5) 大学全体での共用分図書：新規購入等による増加。外国書は複本及び内容の陳腐化等による除籍のため。(5)</p>
(6) 図書館	面積	11,925.03㎡	閲覧座席数	850 1032	収納可能冊数	1,390,000 1,700,000	<p>大学全体 2020年2月に関係する書架のすべての点検を行った結果、収納可能冊数が変更となった。(2)</p> <p>閲覧座席数について、図書館外にある飲食スペースの座席等を含めていたため、当該座席分を減じた。(3)</p>	

(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
		5,006.6㎡		野球場 1面、サッカー場 1面、テニスコート 1面、卓球場 1棟		ハンドボールコート 1面、アーチェリー射場 1面、弓道場 1面				
(8)	経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	届出学部全体 図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費（運用コストを含む）を含む。 変更理由は、「7 その他全般的事項」(1) 設置計画変更事項等に記載。(2) 共同研究費等について、過年度実績及び次年度の研究プロジェクトの計画に基づき予算を設定しているため予算の増減が発生する。実績・計画に基づく変更のため、これによる研究環境への影響はない。(3) 教員 1人当り研究費等：刊行物購入費が増加傾向にあることから、当研究費も増加している。(4) 図書購入費：図書購入費は減少しているが、刊行物購入費は増加傾向にある。図書と刊行物の購入費の合計では支出額に大きな増減はなく研究・教育環境への影響はない。(4)
			教員 1人当り研究費等	1,068千円 1,017千円	1,068千円 1,017千円 1,055千円 1,046千円	図書購入費	7,372千円 5,211千円	7,372千円 5,276千円	7,372千円 5,940千円 5,146千円 3,562千円	
			共同研究費等	1,305千円 1,360千円	1,305千円 1,117千円 1,122千円 1,024千円 1,379千円	設備購入費	8,209千円 26,948千円	8,209千円 20,733千円	8,209千円 21,014千円 19,974千円 7,150千円	
学生 1人当り納付金		第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次			
		1,300千円	1,100千円	1,100千円	1,100千円	— 千円	— 千円			
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	成蹊大学										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	0	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	0	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)								
経済学部	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	昭和43	-	令和2年度学生募集停止				
経済経営学科	4	-	-	-	学士(経済学)	-	-	-	-	-	-	平成16	東京都武蔵野市吉祥寺北町三丁目3番1号	令和2年度学生募集停止				
経済学部	4	230	-	920	-	1.02	1.02	1.01	1.01	-	-	令和2	-	令和2年度設置				
経済数理学科	4	80	-	320	学士(経済学)	1.04	-	1.03	-	-	-	令和2	同上	令和2年度設置				
現代経済学科	4	150	-	600	学士(経済学)	1.01	1.01	1.01	1.01	-	-	令和2	同上	令和2年度設置				
理工学部	4	420	-	1640	-	1.04	-	1.06	1.02	-	-	平成17	-					
物質生命理工学科	4	-	-	250	学士(理工学)	-	-	-	-	-	-	平成17	同上	令和4年度学生募集停止				
情報科学科	4	-	-	300	学士(理工学)	-	-	-	-	-	-	平成17	同上	令和4年度学生募集停止				
システムデザイン学科	4	-	-	250	学士(工学)	-	-	-	-	-	-	平成17	同上	令和4年度学生募集停止				
理工学科	4	420	-	840	学士(理工学)	1.08	-	1.11	1.11	令和4	令和4	同上	同上	令和4年度設置				
文学部	4	420	-	1680	-	1.01	-	1.04	1.01	-	-	昭和40	-					
英語英米文学科	4	121	-	484	学士(文学)	1.01	-	1.01	1.00	-	-	昭和40	同上	令和2年度入学定員減(9人)				
日本文学科	4	84	-	336	学士(文学)	1.01	-	1.03	1.01	-	-	昭和40	同上	令和2年度入学定員減(6人)				
国際文化学科	4	110	-	440	学士(文学)	1.01	-	1.06	1.01	-	-	平成12	同上					
現代社会学科	4	105	-	420	学士(文学)	1.02	-	1.04	1.01	-	-	平成12	同上	令和2年度入学定員減(5人)				
法学部	4	440	-	1760	-	1.04	1.04	1.08	1.04	-	-	昭和43	-					
法律学科	4	280	-	1120	学士(法学)	1.05	1.05	1.08	1.05	-	-	昭和43	同上					
政治学科	4	160	-	640	学士(政治学)	1.02	1.02	1.06	1.01	-	-	昭和43	同上					
経営学部	4	290	-	1160	-	1.05	1.04	1.04	1.04	-	-	令和2	-	令和2年度設置				
総合経営学科	4	290	-	1160	学士(経営学)	1.05	1.04	1.04	1.04	-	-	令和2	同上	令和2年度設置				
大学全体	4	1800	-	7160	-	1.03	1.03	1.06	1.02	-	-	-	-					

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 (様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください)。
 ・学部/学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開採用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず赤字にしてください。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<経済学部 現代経済学科>

(1) -① 担当教員表

個人情報を含むため公表しません。(P.42~P.75)

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

(別紙 EC令2-2) のとおり。

【令和3年度】

(別紙 EC令3-2) のとおり。

【令和4年度】

(別紙 EC令4-2) のとおり。

【令和5年度】

(別紙 EC令5-2) のとおり。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
10	5
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
8	1	0	1	10	0	9	1	2	1	13	0
(9)	(1)	(0)	(0)	(10)	(0)						
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
9	1	2	1	13	0	9	1	2	1	13	0
[1]	[0]	[2]	[0]	[3]	[0]	[1]	[0]	[2]	[0]	[3]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、限可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ 1)
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ 1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{13}{10} = \boxed{130} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{13} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし					
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	鷹岡 澄子	R4.3	必修	基礎ゼミナール	①	R4.4.1付学部内教員所属の変更の為（4）
				必修	上級ゼミナールⅠ	①	
				必修	上級ゼミナールⅡ	①	
				必修	卒業研究	①	
				選択	中級計量経済学	①	
				選択	応用計量経済学	②	
				選択	産業組織論A	①	
				選択	産業組織論B	①	
				選択	組織の経済学	②	
2	助教	庄司 俊章	R4.3	必修	基礎ゼミナール	①	R4.3.31付助教任期満了の為（4）
				選択	初級マクロ経済学Ⅰ	②	
				選択	中級マクロ経済学	②	
3	助教	橋立 洋祐	R5.3	選択	発展インターンシップ準備講座	①	R5.2.19付他大学就任の為辞任（5）
				選択	初級経済学	①	
				選択	基礎特殊講義	①	
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
3	人	必修	5	科目	必修	5	科目
		選択	11	科目	選択	7	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	16	科目	計	12	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)		
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
3	人	必修	5	科目	必修	5	科目
		選択	11	科目	選択	7	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	16	科目	計	12	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{3}{10} = \boxed{30} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

(注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	教授	井出 多加子	必修	基礎ゼミナール	①	R5.3.31付定年退職の為(5)	
			選択	フィールドワークの技法	②		
			選択	社会調査の技法	②		
			選択	実践ゼミナールA	①		
			選択	国際理解ゼミナール	①		
			選択	グローバル特修講座(国際分働中場)	③		
			選択	外国語短期研修	①		
			選択	企業経済特修講座(観光と経済)	③		
合計			後任補充状況の集計				
辞任した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)	②の合計数(b)	③の合計数(c)	
1	人	必修	1 科目	必修	1 科目	必修	0 科目
		選択	7 科目	選択	3 科目	選択	2 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	8 科目	計	4 科目	計	2 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

退職や任期満了、所属の変更に関して、学生への周知は特段行っていないが、すでに後任となる教員が就任し、必修である「基礎ゼミナール」等を担当しているため、学生の履修等への影響はない。そのほかの選択科目についても、後任の専任教員や兼任・兼任教員が担当し、教育上支障がない。なお、後任未定としている定年退職教員の科目2科目は、担当見直しにより同科目名にて別途新規開設されており、学生の履修等への影響はない。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届 出 時 (令和元年)	該当なし。	該当なし。	該当なし。
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和2年度)	該当なし。	該当なし。	該当なし。
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和3年度)	該当なし。	該当なし。	該当なし。
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和4年度)	該当なし。	該当なし。	該当なし。

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。
 - 【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<経済学部 現代経済学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
別紙（EC令5-3）のとおり。	別紙（EC令5-3）のとおり。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

【FD】

① 実施体制

a 委員会の設置状況

FDについては、本学部では（別紙 E0令5-4）のとおり、FD委員会を設置している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

本学部のFD委員会については、年間16回開催している。

また、委員会は、学部長、大学評議員、学科主任、教務委員長、教務副委員長の役職者等及び役職に就いていない本学部専任教員のうちから学部長が指名した若干名で構成され、概ね全ての回に全構成員が参加している。

c 委員会の審議事項等

FD委員会の審議事項は、規則において、次のように定めている。

- (1) 本学部における教育活動の改善に関する事項
- (2) 学生による授業評価の結果分析及び活用に関する事項
- (3) FD活動の点検・評価に関する事項
- (4) その他学部長が必要と認めた事項

この定めに基づき、令和4年度のFD委員会では、次の事項についての審議等を行った。

- ・FD研修会の年間計画の策定
- ・FD研修会の内容策定、運営、報告
- ・FD活動報告書
- ・FD委員会の開催日時
- ・FD活動方針関係
- ・授業研究会
- ・ティーチングアワード（教員顕彰）候補者選定、推薦
- ・授業評価アンケート関係（実施、結果の分析、セルフレビュー）
- ・シラバス関係（取りまとめ、第三者チェック）

② 実施状況

a 実施内容

上記のFD委員会で内容を策定したFD研修会について、令和4年度は、以下3回のFD研修会を実施した。

- ①「基礎ゼミナール」をテーマとした研修会
 - ②「対面講義のオンデマンド化に関する情報共有」をテーマとした研修会
 - ③「2017年から2021年にかけての本学卒業生の産業別就職状況の動向」をテーマとした研修会
- その他、授業研究会（財城真寿美教授の担当科目「GISゼミナール」）も実施した。

b 実施方法

FD研修会：オンライン形式

授業研究会：対面形式

c 開催状況（教員の参加状況含む）

FD研修会：

- ①令和4年4月7日に実施した第1回研修会には、25名が参加した。
- ②令和4年6月23日に実施した第2回研修会には、25名が参加した。
- ③令和4年7月14日に実施した第3回研修会には、25名が参加した。

授業研究会：令和4年12月9日の2限に実施した研究会には、5名が参加した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

FD研修：各回とも構成員の全員である25名が参加した。第1回研修会においては、研究倫理教育の重要性や複数クラス合同でのイベント実施が提案され、前者については学部独自作成の教材の活用、後者については7月12日の合同ポスター発表会という形で授業改善に結びついた。第2回研修会においては、対面講義のアーカイブ公開の手法が共有され、参加者の約半数が「有用だと思ったので、今後実施しようと思った・するかもしれない」と回答した。第3回研修会においては、本学卒業生の産業別就職状況が共有され、業界情報に対する学生ニーズを把握する一助となった。

授業研究会：当該授業は反転授業やアクティブラーニングを実践されている授業であり、参加者がそれらのノウハウを共有し、さらなる改善策について議論する有意義な機会となった。

② 実施状況

【SD】

a 実施内容

成蹊大学SD (Staff Development) 実施方針を定め (別紙 EC令5-5)、これに基づき、毎年度、実施計画を策定し、実施している。令和4年度は、全5回実施した。

研修テーマは、大学の教育研究活動及び教学マネジメントに関し、より適切かつ効果的な運営ができるよう、職員が必要な知識及び技能を習得するとともに、その能力及び資質の向上をめざすという目的 (方針) を達成するため、以下のいずれかに該当するものとする。

- ① 3つのポリシーに基づく本学の自己点検・評価と内部質保証に関するもの
- ② 教学マネジメントに関わる専門的職員の育成に関するもの
- ③ 大学改革に関するもの
- ④ 学生の厚生補導に関するもの
- ⑤ 業務領域の知見の獲得を目的とするもの (総務、財務、人事、企画、教務、研究等)
- ⑥ その他 (本学独自の業務に関するもの、時流に対応したもの等)

b 実施方法

令和4年度は、オンライン形式 (Zoomを使用) 及びオンデマンド動画の配信にて実施した。

c 開催状況 (教員の参加状況含む)

令和4年度に開催したSDは、次のとおりである。

なお、参加者数については、教員・職員分け隔てなく参加募集をしていることもあり、分けての集計は行っていない。

第1回「成蹊大学の今後の運営方針について」参加数：139名

第2回「学部設置等における質保証システムとしての設置計画審査と履行状況等報告」参加数：39名

第3回「大学を取り巻く教育行政等の最新動向について」参加数：42名

第4回「『進学ブランド力調査』と『高校生価値意識調査』からみる最新の進学動向について」参加数：48名

第5回「学生と教職員の性の多様性—大学として何ができるか—」参加数：50名

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

大学全体として、前期末及び後期末に実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果の集計後、学期ごとに大学ホームページにて公開している。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

経済学部現代経済学科の設置の趣旨・目的については、設置4年目においては、特に次の3点の理由から、十分達成しているものと思われる。

1 定員充足の状況

開設4年目となる2023年度入試においては、定員150名のところ、一般入試、AO入試、各種推薦入試を通しての志願者数が2,400名（定員に対する志願者数：16倍）、受験者数が2,262名、合格者数が489名（実質倍率はおよそ4.6倍）と、前年度に引き続きそれぞれ高い倍率を示した。

このことは、設置にあたり入学志願者の動向等の分析が適切になされた結果であるとともに、本学科の教育課程に一定の魅力を感じてもらえた結果といえる。

依然、歩留まりの見通しが難しいところがあったが、定員150名に対し154名というほぼ適正な入学者を迎えた。なお、受験者2,262名のうち、新型コロナウイルス感染症による特設追試の受験生は3名であったが、それによる合格者は0名であった。

2 教員組織の変更

令和5年3月末で、教授2名が定年により退職、また助教1名が契約期間を満了せずに退職した。これに対して、令和5年4月に、2名の教員の採用（うち教授1名、助教1名）を行った。そのほか、もう1名の教員の充当も図ったが、マッチング上の問題から採用には至らなかった。また、准教授1名が令和5年4月に教授に昇進した。

この結果、経済学部現代経済学科の専任教員は、教授9名、准教授1名、講師2名、助教1名の13名体制となった（設置計画時は10名）。

3 学部運営等

設置後の3年間に引き続き第4年度も学生募集という点では何ら問題なく推移している。一方で2020年4月の設置と同時に襲ったコロナ禍の影響を受けて設置後の2年間は、本学科の教学運営も大きな影響を受けた。初年度には、他大学に先駆けて4月の早い時期にオンライン授業の実施を決定し、当初予定の学年暦通りの週数で授業を運営し、本学部の設置の趣旨・目的に掲げた教育から逸れることがなく、学科を始動させることができた。第2年度の令和3年度においては、1年次生、2年次生ともに演習科目を中心に対面授業を再開し、緊急事態宣言（4月下旬より5月末まで）の解除後には、対面授業の実施科目を拡大させた。第3年度の令和4年度以降は、履修者数概ね150名を超える大規模科目を除けば、通常通りの授業運営となっている。令和5年度については、本学科で開講する授業のうちオンラインで実施する授業は前後期あわせて4科目のみである。

設置4年目を迎え、4年次生向けの「卒業研究」も開講されており、本学科最初の卒業生を送り出すべく、教員が一致団結して努力を続けている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

大学全体の自己点検・評価報告書として、令和6年度はじめ（認証評価結果受領後）に公表予定（令和4年度に報告書を作成し、令和5年度に公益財団法人大学基準協会での認証評価を受ける予定）。

b 公表方法

大学ホームページ上に公開予定（令和6年4月を予定）

③ 認証評価を受ける計画

令和5年度に公益財団法人大学基準協会による認証評価を受ける予定である。

(注)・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。